

2. 評価グリッド

実績とプロセス

評価項目	調査項目	指標・判断基準	データ、情報																																								
実績 (プロ目)	プロジェクト目標:「WACIPACが西アフリカサブ地域のメンバー国の包括的な寄生虫対策のための人材養成機関としての役割を担う」の達成度の現況	1. WACIPAC が西アフリカにおいて学校保健をベースにした包括的寄生虫対策のための人材養成を対象者の6割以上に対して行う。	<p>[Q]「学校保健と寄生虫対策に関する政策立案官向け国際ワークショップを2回(40名参加)、プログラムマネージャー向け国際研修を5回(97名参加)実施した。延べ人数は137人に達し、当初計画の100人を越える参加者数となった。137%に達した。160人を期待値としても86%になり、6割を越えている。</p> <p>[Q]メンバー国のプログラムマネージャーに対する質問票への回答では、WACIPACの国際研修を平均で+1.2(-2~+2の範囲)と採点。内訳は「優れている」と回答したプログラムマネージャーが2人、「満足している」と回答した人が10人。</p> <p>[Q]国際研修を他者にも薦めるかどうかについては「是非薦める」が6人、「どちらかというと薦める」が6人で、全員が研修を評価。</p> <p>[I]国際研修に参加したプログラムマネージャーへの直接インタビューではWACIPACに期待したことは国際研修を通じて人材養成であり、研修は期待どおりであったとの回答が多かった(10ヶ国中6各国)。</p>																																								
		2. WACIPAC が西アフリカにおける中心的な寄生虫対策研修センターとなり、認知度が高まる(研修参加者の6割が満足、開発パートナーの6割がいずれかの活動を認知?)	<p>[Q]WACIPACを学校保健をベースとした包括的な寄生虫対策を研修する機関としてどの程度認知しているかという質問に対しては、平均で+1.7(-2~+2の範囲)と採点。12人のうち8人が「たいへんよく認知」、4人が「どちらかというと認知」と回答。</p> <p>[Q]WACIPACを国境を越えた情報センターとしてどの程度認知しているかという質問に対しては、平均で+1.0(-2~+2の範囲)と採点。12人のうち4人が「たいへんよく認知」、6人が「どちらかというと認知」と回答。</p> <p>[Q]WACIPACがオペレーションリサーチを行う研究機関としてどの程度認知しているかという質問に対しては、平均で+0.8(-2~+2の範囲)と採点。12人のうち5人が「たいへんよく認知」、4人が「どちらかというと認知」、2人が「そんなに認知していない」、1人が「まった認知していない」と回答。</p> <p>いずれの質問にも6割以上は「認知」している。</p>																																								
		3. WACIPAC がハブとなり、西アフリカの寄生虫対策関係者間のネットワークを形成する	<p>[Q]質問票への回答によると、4割のプログラムマネージャーは少なくとも1ヶ月に一回は電話や電子メール、会議・面談などにより関係者と連絡をとっている。一方、WACIPACは情報交換の中心として2ヶ月以内に継続的に連絡をとっている関係者が30人、2ヶ月以降4ヶ月未満の間に継続的に連絡をとっている関係者が34人であった。WACIPACが情報交換の中心としての機能を果たしていると考えられる。以下の表は連絡者数が多い回答者トップ7。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>country</th> <th>Professionals</th> <th>Number</th> <th>Frequency</th> <th>Mode</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WACIPAC</td> <td>Participants of the International training programme</td> <td>26</td> <td>Quarterly</td> <td>e-mail Telephone Personal contact</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Development</td> <td>14</td> <td>once every two</td> <td>meet</td> </tr> <tr> <td>WACIPAC</td> <td>Teachers at WACIPAC model site</td> <td>10</td> <td>Twice a month</td> <td>e-mail Telephone Personal contact</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>School health facilitator</td> <td>9</td> <td>Once a month</td> <td>e-mail</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Participants of International training programme</td> <td>7</td> <td>each time there is a need</td> <td>e-mail Telephone Physical presence</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Benin's participants</td> <td>6</td> <td>once every two months</td> <td>e-mail</td> </tr> <tr> <td>WACIPAC</td> <td>Education Officers at WACIPAC model site</td> <td>6</td> <td>Twice a month</td> <td>Telephone Personal contact</td> </tr> </tbody> </table>	country	Professionals	Number	Frequency	Mode	WACIPAC	Participants of the International training programme	26	Quarterly	e-mail Telephone Personal contact	2	Development	14	once every two	meet	WACIPAC	Teachers at WACIPAC model site	10	Twice a month	e-mail Telephone Personal contact	2	School health facilitator	9	Once a month	e-mail	6	Participants of International training programme	7	each time there is a need	e-mail Telephone Physical presence	2	Benin's participants	6	once every two months	e-mail	WACIPAC	Education Officers at WACIPAC model site	6	Twice a month	Telephone Personal contact
		country	Professionals	Number	Frequency	Mode																																					
WACIPAC	Participants of the International training programme	26	Quarterly	e-mail Telephone Personal contact																																							
2	Development	14	once every two	meet																																							
WACIPAC	Teachers at WACIPAC model site	10	Twice a month	e-mail Telephone Personal contact																																							
2	School health facilitator	9	Once a month	e-mail																																							
6	Participants of International training programme	7	each time there is a need	e-mail Telephone Physical presence																																							
2	Benin's participants	6	once every two months	e-mail																																							
WACIPAC	Education Officers at WACIPAC model site	6	Twice a month	Telephone Personal contact																																							
4. 支援する国の学校保健と各種寄生虫対策に関する政策の枠組みや事業がWACIPACによって強化される	<p>ベニン国とニジェール国での小規模事業支援に関する合同評価会議では、小規模事業の実施による経験や獲得したスキルが教材やツールの形で提示された。ベニン国はWACIPAC(WACIPAC設立前の第3回研修)国際研修コースで研修を受けた保健大臣と教育大臣により国家駆虫政策が策定され、国家駆虫プログラムにむけて小規模事業の支援によって強化されている。ニジェールでも同様に自己評価基準が開発パートナーとともに開発された。ガーナでは国家駆虫プログラムに必要な教師のための訓練やツールの開発を支援した。トーゴでは省庁間をまたぐ学校保健と寄生虫対策のための委員会が設置された。ブルキナファソ、マリ、コートジボアールでは駆虫プログラムに対する間接的な支援が行われた。セネガルとナイジェリアでは政策とガイドラインの策定について研修参加者による間接的な支援が行われた。以上のようなインパクトが確認されたことから、メンバー国の政策や事業は強化されたと判断する。</p>																																										
アウトプット-1:「WACIPACの組織能力が強化される」の達成度	プロジェクト終了までに:																																										
	1. WACIPACがガーナ大学との正式な規約に基づいてスタッフや予算を伴った大学のセンターとして設立される		<p>[Q]日本側にとっては、人員・予算が大学側の負担で賄われること、ガーナ側(野口研)にとってのセンター認証は既にあるスタッフが兼任のまま、予算は外割りソースで賄われていることというギャップがある。ECOWAS/WAHOとの統合(傘下入り)計画(自立発展計画)の提案が実現すれば、ガーナ大学からの認証が得られる可能性が高く、人員・予算の割り当てが可能と期待している。終了時までに目処がたつ予定。</p>																																								
	2. マネージメント会議とジョブセミナーが定期的に開催される		<p>[Q]プロジェクト内部の会議はほぼ毎週実施されている。但しC/Pや専門家が多く出張している際には延期や中止もあった。内部会議の議事録は必ずしも定期的に書かれていない(2008年度はこれまで毎回書かれている)。</p>																																								
アウトプット-2:「ガーナ国内におけるフィールドリサーチを通じて、学校保健による寄生虫対策のモデルが開発される。」の達成度	3. WACIPACのスタッフがオペレーションリサーチと研修マネジメントに関する知識と技術を獲得する		<p>[I]データ管理の方法や研究プロトコルは実践を通じてC/Pへ技術移転されつつある。実質的なWACIPACの組織能力は政策策定官やプログラム担当官のための国際研修コースの企画・運営やメンバー国への研修後フォローアップ訪問、日本でのC/P研修を通して次第に強化された。</p> <p>[Q]政策立案官とプログラムマネージャーに対する研修は成功裡に終わり、実質的な運営能力とノウハウは蓄積された。</p>																																								
	1. 行動変容コミュニケーション(BCC)のためのIEC教材が開発され、テストされる		<p>[Q]当初計画は分らないが、基礎調査において対象となった疾患(腸管寄生虫症・住血吸虫症・マラリア)と推測される。腸管寄生虫症・住血吸虫症・マラリアを含む感染症一般が取り扱われ、おそらく作成予定だったものは全て完了したと思われる。</p> <p>【Review】以下の表のように11種類のIEC教材・ツールが作成された。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1. WACIPAC Lockdown (2007)</td> <td>WACIPAC Lockdown</td> </tr> <tr> <td>2. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>3. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>4. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>5. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>6. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>7. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>8. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>9. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>10. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> <tr> <td>11. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)</td> <td>WACIPAC Lockdown (2007)</td> </tr> </tbody> </table>	1. WACIPAC Lockdown (2007)	WACIPAC Lockdown	2. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	3. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	4. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	5. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	6. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	7. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	8. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	9. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	10. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)	11. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																		
1. WACIPAC Lockdown (2007)	WACIPAC Lockdown																																										
2. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
3. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
4. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
5. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
6. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
7. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
8. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
9. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
10. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										
11. WACIPAC Lockdown (2007) (WACIPAC)	WACIPAC Lockdown (2007)																																										

実績 (アウトプット)	2. モデルプロジェクト地区の小学生とコミュニティが寄生虫に関する知識を獲得し、予防行動をとる	<p>[Q]リサーチ自体が2007年に開始されたものであり2002年のKAP調査(GPCI)時代のものとは形式も構成も異なる為、参考程度の見比べにしかならない。2007年のKAP調査自体もバイアスや制限が多い為、解釈は難しいと考えられる。</p> <p>[Review]アダホアの10の小学校のクラス3を対象としたKAP調査では、衛生行動とともに土壌媒介中の駆虫薬に対する知識と実践は向上した。しかし、2002年と2007年の調査では寄生虫の感染経路や症状に関する知識は増えていなかった。結果の示唆するところは衛生教育の継続性が状況を変えたことであって、知識そのものが状況を変えたのではないということである。</p> <p>[Q]国際学会に提出した論文の要約(3編)がある。</p>																												
	3. 学校・コミュニティアプローチの効果が科学的に検証される	<p>[Q]現時点では介入後調査がなされていない為、結論部分には達していない。</p> <p>[Review]アダホアでのヘルスプロモーション活動を通じて、アダホアの寄生虫感染と身体状況、個人の衛生行動は改善され、寄生虫感染率は5年間で減少したことがプロジェクトの調査で示唆された。</p>																												
	4. 国際研修のための適切なモデルとしてデモンストレーションサイトが確立される	<p>[I]WACIPACを通じて以下のような成果を国内関係者や国際研修員のための学習サイトとして提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 保健セクターと教育セクターによる監督システム - 教師の研修方法 - 情報・教育・コミュニケーション(以下IECと略す)教材・ツールの開発 - 駆虫方法 - 保健教育計画の開発 - コミュニティとの連携 																												
アウトプット-3:「国際研修およびそのフォローアップを通して、メンバー国の政策立案者、プログラムマネージャーが学校保健をベースとした寄生虫対策の知識や技術を獲得する」の達成度	1. 国際研修で少なくとも10のメンバー国から100人が研修を受ける	<p>[Q]10ヶ国から100人が研修を受けるとされたが学校保健と寄生虫対策に関する政策立案官向け国際ワークショップを2回(40名参加)、プログラムマネージャー向け国際研修を5回(97名参加)実施し、研修を受けた延べ人数は137人に達した。</p> <p>[Review]第一回目の政策立案官向けのワークショップの研修評価ではどの研修項目も5段階評価の平均が3.5~4.2と比較的高い満足レベルの評価がなされている。下表はその項目別の採点である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1. Objectives</th> <th>Average Score (Range)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Degree of awareness on the Course objectives</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>Degree of fulfillment to participants' expectations</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <th>2. Curriculum Design</th> <td></td> </tr> <tr> <td>Degree of satisfaction to coverage of the subjects</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>Degree of satisfaction to level</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>Degree of satisfaction to intensity</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>Degree of satisfaction to duration</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <th>3. Course Conduct</th> <td></td> </tr> <tr> <td>Degree of satisfaction to teaching method</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>Degree of satisfaction to application</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <th>3. Training Outcomes</th> <td></td> </tr> <tr> <td>Attainment of technique and knowledge</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>Application of technique and knowledge</td> <td>4.1</td> </tr> </tbody> </table>	1. Objectives	Average Score (Range)	Degree of awareness on the Course objectives	3.8	Degree of fulfillment to participants' expectations	4.2	2. Curriculum Design		Degree of satisfaction to coverage of the subjects	3.5	Degree of satisfaction to level	3.4	Degree of satisfaction to intensity	3.4	Degree of satisfaction to duration	3.5	3. Course Conduct		Degree of satisfaction to teaching method	3.6	Degree of satisfaction to application	3.8	3. Training Outcomes		Attainment of technique and knowledge	4.0	Application of technique and knowledge	4.1
	1. Objectives	Average Score (Range)																												
	Degree of awareness on the Course objectives	3.8																												
Degree of fulfillment to participants' expectations	4.2																													
2. Curriculum Design																														
Degree of satisfaction to coverage of the subjects	3.5																													
Degree of satisfaction to level	3.4																													
Degree of satisfaction to intensity	3.4																													
Degree of satisfaction to duration	3.5																													
3. Course Conduct																														
Degree of satisfaction to teaching method	3.6																													
Degree of satisfaction to application	3.8																													
3. Training Outcomes																														
Attainment of technique and knowledge	4.0																													
Application of technique and knowledge	4.1																													
2. 国際研修の参加者はフィールドでの寄生虫対策の実践の中で経験と自信を得る	<p>[I]国際研修の参加者は、良質で効果的、分かりやすい研修を期待していた。参加者にとって、国際研修で学んだ寄生虫対策の経験と自信がどう彼ら自身のフィールドに活用できるはそれぞれ異なる。ナイジェリアでは学校保健政策とプログラムを策定し、ブルキナファソは学校保健の概念を導入して、学校教育大会でよい業績を挙げた学校に賞金をあげた。セネガルは学校保健の政策を策定し、そのうちのいくつかを実行した。トーゴは学校保健をベースとした寄生虫対策について、WACIPACに保健省と教育省の担当に会うことを求め、それが省庁間をまたぐ委員会形成につながった。マリでは学校保健を日本でも学んだ国際研修参加者が全国を対象としたプログラムをつつた。</p> <p>メンバー国の参加者が小規模事業のための提案書の準備に相当の時間を使つた一方で、選定されなかったメンバー国が次第にモチベーションを失っていった側面もある。</p> <p>[Review]メンバー国を対象に16回のフォローアップ訪問が実施された。それぞれのメンバー国に2回以上はWACIPAC専門家が訪問(カメルーン国のみ1回)。</p> <p>[Q]質問票への回答によるとメンバー国へのフォローアップ訪問は「非常に有効」と回答したプログラムマネージャーは5人、「限界はあるが有効」と回答した人は6人、「まったく有効ではない」と回答した人は1人。その理由に以下を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確なアドバイスが得られること、 ・目的が明確になること、 ・異なる視点から意見交換ができること、 ・政策立案官や開発パートナーの関与への働きかけ <p>[I]プログラムマネージャーへの直接インタビューでもフォローアップ訪問の重要性が指摘された。ただ、その重要性ゆえにフォローアップ訪問の回数は十分でなかったとの意見もいくつかのメンバー国から出された。</p>																													
3. 支援国の参加者・機関は学校を基礎とした寄生虫対策に関する計画と実践の管理技術を身につける	<p>[I]研修中のプログラムマネージャーへの直接インタビューによると、ほとんどの国は学校保健または寄生虫対策プログラムを国際機関などのパートナーの支援を受けて実施している。彼らは何らかの形で学んだ知識や技術を政策策定の過程やガイドラインの改定、前線働く先生や行政官の研修、学校保健キャンペーンなどに活用したと答えている。コートジボワールでは、全国レベルで駆虫薬対策の政策、ガイドライン、戦略計画を策定した。トーゴではMoHやWHO、UNICEF、ブランドーゴ(NGO)を巻き込んだ省庁間委員会の形成につながった。</p>																													
アウトプット-4:「WACIPACがメンバー国の情報ネットワークの拠点として機能し、3つの国際寄生虫対策センター間のネットワークを推進する」の達成度	1. WACIPAC内に情報交換と交流のためのデータベースやハブが形成される	<p>[Q]ウェブサイト、ニュースレター作成用のPC、カラープリンター、データマネジメント用ソフトウェアなど、ウェブやニュースレター作成のためのソフトや機材は揃っている。しかし、それを行うC/Pの人材は不足している。</p> <p>[Review]WACIPACではデータ管理用のスペースを用意し、EPIインフォやEPIデータなどの必要なソフトウェアがインストールされた。</p>																												
	2. ウェブを通じた情報共有システムが開発される	<p>[Q]想定するサービス受信者(メンバー国)の物理的な接続環境が整わないことから、共有システムの構築は困難である。また、疫学データなどはメンバー国の当局から情報クリアランス(許可)が求められ、実質上データベース構築はできない可能性が高い。データとベストプラクティス等を公開するデータベースの構築は止まっている。</p> <p>[I]モデルサイトでデータベース構築のための入力様式とデータベースの基本が作成されたが、モデルサイトでの活動変更に伴い、作成されたデータベース様式は他には応用できないものとなった。</p> <p>[Review]開設から中間評価時までの一日平均アクセス数が17.5回であったのに対し、2007年1月から2008年6月までの一日平均アクセス数は140回と著しく増加した。フランス語のウェブページが中間評価後、開設された。</p>																												
	3. WACIPACによる定期的なニュースレターが発行される	<p>[Q]WACIPACは半季ベースでニュースレターを発行することが計画されている。WACIPACのニュースレターはすでに26号が発行され、ウェブページから英語・フランス語のファイルがダウンロード可能となった。なお、ニュースレターは29号まで準備されているがまだ発行されていない。</p>																												

実績 (アウトプット)		4. 科学的な会議での2回の発表と少なくとも5本の論文を刊行	【Review】WACIPACは以下のようにこれまで国際科学会議で2回の発表を行い、ガーナ国内で4回の発表を行っている。 - 国際科学会議での2回の発表 (10th European Multicolloquium of Parasitology, 17th International Congress for Tropical Medicine and Malaria) - 国内の科学学会での4回の発表 (The second Annual Scientific Conference of the College of Health Sciences, University of Ghana) また、論文審査がある学術専門誌への1論文が投稿され、今後いくつかの論文が「フィールドリサーチの結果をうけて執筆される予定。
	アウトプット-5:「重点支援国が学校保健をベースとした寄生虫対策活動を開始する」の達成度	1. 少なくとも2つのメンバー国がWACIPACの支援によって学校保健を基礎とした寄生虫対策を開始する	【Review】対案書に関するWACIPACとの契約を結び、ベニンでは全国駆虫プログラムへの展開をめざしたモデル地区での駆虫プログラムが実施され、ニジェールでは自己評価基準の設定と自己評価ツール(評価シートやその使用方法、事例をセットにしたもの)を開発が行われた。ガーナでは国家駆虫プログラムの実施をWACIPACが支援した。 【Review】ベニンとニジェールはWACIPACとの契約にもとずき、学校をベースとした介入事業を行った。ニジェールでは3回の国際機関などの関係者ワークショップを開催し、141人が出席した。
		2. 重点支援国で少なくとも30人のフロントラインオフィサー研修を受ける	【Review】ベニンでは開発された教材やツールを使ってダンボ地区とリトラル(Litral)地区の326人の教師を対象に学校をベースとした駆虫対策モデルの研修が行われた。ワークショップの研修は3回行われ、フロントオフィサー(教師が主)がそれぞれ、120人、127人、79人であった。ニジェールではTillabéri地区の27学校を対象に「学校環境の衛生アセスメントに関する研修実施トライアル」を実施し、28人の地区教育担当や学校監督官が出席した。フロントラインオフィサーはベニンとニジェールのみで計353人になった。
		3. メンバー国で、マネージメント、保健政策立案、オペレーションリサーチなどに関する技術と技能のレベルが上がる	それぞれメンバー国によって環境や置かれた条件が異なるが、技術と能力は向上した。アウトプット3の指標2を参照のこと。
	4. 重点支援国で寄生虫対策活動のための学校保健を基礎とした実践について提案がまとめられる	【I】具体的な提案書としてはまとめられていないが、小規模事業の実践を通じてベニンの場合は全国展開(復元性)を目指し、モデル化とフィールドでの有効性の検討が進んでいる。ニジェールでは自己評価ツールはほぼ完成し、いわばこれが「提案」そのものであると言える。 【O】小規模事業の評価会議では、普及展開のための提言が参加者から出された。ベニンは全国展開のためにスクールクラスターを使うという考えが提案された。ニジェールでは、国際機関のプログラムに自己評価ツールを統合することが提案された。	
投入実績 (日本)	【専門家数・専門分野(人月数)】 【短期専門家数(人月数)】 【受入れ研修員数(研修員の所属別)に人月数】	・投入は計画どおり実行されたか?	【Review】長期専門家については、2008年6月までに7人、延べ128人月が投入された。短期専門家は、同期間中に18人、延べ50人月が投入された。国際寄生虫対策センター(CIPACs)間の連携として、ACIPACとESACIPACから9人の専門家が、講師またはリソースパーソン派遣された。12名のカウンターパートが日本で研修を受けた。 【O】野口研地区内にプロジェクト事務所が建設された。ダンメイス・ディストリクトのガーナ保健サービス施設内にあるフィールドラボラトリーが改修された。
	【供与資機材(リストと供与額)】	・投入は計画どおり実行されたか?	【Review】141品目の機材が投入された。機材はほぼ問題なく、適切に使用されている。Operational Cost from the JICA Project fund inticated that ¥136,267,917 in total was spent for the 2008年4月までに、現地業務費として136,267,176円(1.3百万米ドル)が支出された。アウトプット3が32%を占め、次いでアウトプット5が23%、アウトプット2が15%、アウトプット1が14%、アウトプット4が4%、一般管理費が11%となっている。
投入実績 (ガーナ)	【ガーナ側の人材投入】	・投入は計画どおり実行されたか?	【Review】2008年6月までに16名のC/PがWACIPACに任命された。プロジェクトに関わるC/Pの給与、車両保険、水道光熱費を負担した。
	【土地・資機材などの投入】	・投入は計画どおり実行されたか?	土地と施設 1. 野口研内のプロジェクト事務所の土地 2. モデルサイトのガーナ保健サービスが所有するラボラトリー 3. 野口研内の研修会議施設 * ガーナ側の支出は職員の兼任や電気水道代が分離されていないことから明確にできない。
プロジェクトチーム	・プロジェクトチームは、どのような運営形態を形成しているか ・C/Pの配置、期間は適切であったか? プロジェクトでの役割は明確であったか?	プロジェクトのモニタリング・管理に関する全体的な組織形態と特徴、プロジェクトチームの役割や範囲、運営形態を把握し、必要ならば運営上の提言・教訓につなげる。	【Q】WACIPAC プロジェクトでは定期的な内部会議を毎週2-3時間を割いて実施している。また必要に応じて緊急的な会議をひらくこともある。プロジェクトディレクターとは、プロジェクトの進捗説明や問題がおきたときに話し合いをもつこととしている。このような不定期な会議としてはJICAガーナ事務所との会議も含まれる。運営委員会や諮問委員会などプロジェクトモニタリングのための計画的な会議は予定どおり開催されてきた。会議のための議事録を残すほか、メモなどもコミュニケーションの手段として利用する。 【Q】2008年12月よりチーフアドバイザー不在のため、将来的なセンターとしての活動形態を想定して、ガーナ側プロジェクトマネージャーをリーダーとし、会議の運営を任せている。意思決定は、プロジェクトマネージャーの提案に他C/P、日本人専門家がコメントをする形で行われる。 【Review】プロジェクトの意思決定と運営のための2つの委員会ー運営委員会と諮問委員会がある。R/Dによると諮問委員会は年に一回、運営委員会は四半期ごとに開かれることになっている。実際の頻度としてはほぼ計画どおり会議が開催されている。 - 諮問委員会 5回、 - 運営委員会 11回。
活動の進捗状況	・活動は順調に進んできたか、活動を阻害している要因は何か ・十分に実施されていない活動はあるか、あるとしたらその原因は何か ・運営上の問題があるとしたら、どのように対処しているか?	同上	【Q】プロジェクトの前半は、配置した人材の解雇や研修支援の打ち切り、理念上の対立、WACIPACとJICAとの非効率的なコミュニケーションなど困難な時期であった。プロジェクト予算の限度と不十分なガーナ政府の支出もあった。 【Q】関係者の方針が異なり、予算を支払わないことによって活動を止めるなどの措置がとられたため、関係者間の信頼関係が悪化した。2005年12月の運営指導調査により、コミュニティ中心のモデルサイト活動から学校中心に転換が図られた。また、専門家不在期間が長く続き、活動の停滞をもたらした。 【Q】周辺国(メンバー国)支援については何カ国にどの程度の支援を行えるかという計画がなく、途中で1~2カ国のみで直接支援を行うと決定された結果、周辺国から失望の声が多く聞かれた。更に活動開始に際しては、どのような合意文書を書けばよいか、予算管理はどのように行うかといった制度的枠組みがなく、広域プロジェクトとしての活動をサポートする仕組みづくりが後手後手に回った。 【Q】プロジェクト後半は、これまでの教訓を生かし、日本人専門家とC/P間のコミュニケーションの強化が図られ、プロジェクトはそれにとれない円滑に運営が行われるようになった。WACIPACのシニア職員によるプロジェクトへのオーナーシップとリーダーシップもまたプロジェクト運営の円滑化に貢献している。WACIPACとモデルサイトや小規模事業支援サイトの関係者とも良好な関係にあり、プロジェクト運営の円滑化に貢献している。

<p>成果とプロジェクト目標のモニタリングの実施状況</p>	<p>モニタリングの仕組み</p>	<p>・PDMは誰にどのような範囲で理解されていたか？PDMの改定はなされたか？ ・モニタリング(プロジェクトの進捗状況の確認)はどのように行われていたか ・進捗状況確認の会議は開催されていたか(頻度等含む) ・進捗状況確認の結果はどのようにフィードバックされていたか</p>	<p>【The Mid-term evaluation report】オリジナルのPDM及び2005年12月に軽微な改訂が行われたPDM(ver.2)いずれも非常に複雑で関係者のプロジェクトの理解を困難にするものであった。この問題については事前評価調査団もPDMをプロジェクト開始後速やかに明瞭なものへ改訂すべきことを指摘していたが、実際には今般の中間評価調査まで抜本的に見直されることはなかった。プロジェクトの理念を変える必要はないものの、2008年末のプロジェクト完了時を見据え、論理的かつ合理的にPDMを明瞭化することが必要であった。こうしたことから、中間評価調査中にプロジェクト関係者による参加型ワークショップを開催し、PDMの全面改訂を行った。2007年3月の PDM version 3 では指標が 36 to 18にカットされた。 【Q】野口研C/Pにはよく理解されているが、ガーナ保健サービス(GHS)、ガーナ教育サービス(GES)にはC/Pが得られず、PDMの内容を把握していないものと思われる。 POのレビュー、結果の観察、フィールドでのディスカッション、モデルサイトへの定期的な訪問、小規模支援国へのフォローアップ訪問、会議での互いの報告を通じてモニタリングをおこなった。 【O】プロジェクトの活動や投入に関してはモニタリングされていたようだが、肝心の指標に関してモニタリングは行われていなかったようである。</p>
	<p>外部条件の変化に対する対応</p>	<p>・外部条件に対し変化はあったか。変化があった場合、誰がどのように対応したか</p>	<p>【Q】メンバー国が準備した小規模事業計画の提案が利用されなかったため、メンバー国とWACIPACの関係に悪影響を与えた。このような意図せざる影響を緩和するために、国際研修やフォローアップ訪問を通じて、そのことを話し合い、プロジェクト活動の軌道修正をおこなった。 【Q】アウトプット2と5への外部資源の活用という考え方があった。ニジェールでは国際機関のプログラムに組み入れることによる費用分担が検討され、ベニンでは本来政府が実施する学校ベースの活動を小規模支援を行うというスタンスがとられている。</p>
	<p>前提条件の変化に対する対応</p>	<p>・前提条件に対し変化はあったか。変化があった場合、誰がどのように対応したか</p>	<p>【Q】国際寄生虫イニシアティブによるWACIPACの役割は定義されていたものの、プロジェクトが始まるまでに十分に理解されていなかった。 運営指導調査によってモデルサイトを含む緊急の評価を行い、WACIPACの役割が再度定義された。また、新しいPDMに改訂された。モデルサイトの活動もまた修正が加えられ、小規模事業支援はメンバー国2ヶ国に絞られた。 【Q】当初は日本の経験にかなり忠実に従い、政府・寄生虫学者とコミュニティ組織(=PCA)の3者が協力して寄生虫対策を促進するモデルを想定していたので、研究機関が重視されていた(例えば、2005年の国際研修では1カ国から教育省・保健省・研究機関から3名が参加)が、PCA活動への直接支援が打ち切られた後は、学校保健活動を通じて寄生虫対策に方針が変わったため、研究機関の参加は行われなくなっている。</p>
<p>専門家とカウンターパートとの関係</p>	<p>コミュニケーション、問題認識の共有</p>	<p>・専門家とC/Pの間で十分なコミュニケーションが図られていたか ・専門家とC/Pの間で問題に対する認識は共有されていたか(各部門別)</p>	<p>【Q】C/Pと日本人専門家のコミュニケーションは良好である。目標も共有されている。</p>
<p>プロジェクト受益者の事業への関わり方</p>	<p>受益者のプロジェクトへの関わり方</p>	<p>・情報の収集や計画への参加という面で ・問題の共有と実施への参加という面で ・プログラム・プロジェクトの評価やフィードバックという面で</p>	<p>【Q】子どもたち、先生、両親、PTA、学校管理委員会、学校保健委員会はすべてプロジェクト活動を支持している。これらの関係者は学校保健の衛生と環境に関する相談役でもある。</p>
<p>相手国実施機関のオーナーシップの度合い</p>	<p>・プロジェクト責任者は定期的に会合を持ち、情報交換をしているか ・ガーナ側(あるいはメンバー国)がプロジェクト活動に関してイニシアティブを取ったものはあったか？ ・プロジェクト対象地域外への普及意欲とプロジェクト対象地域外の関心</p>	<p>・当該責任組織・責任者のプロジェクト会議の頻度及び参加度 ・カウンターパートの配置と人数 ・WACIPAC主導によるモデル地区以外への普及と他国の成果の取り入れ</p>	<p>【Q】ガーナ大学は職員をWACIPACに対してパートタイムベースで提供している。すなわち、WACIPACは独立した機関として大学に認知されており、大学の組織上は野口研の寄生虫部門のひとつとしてみなされている。したがってプロジェクト運営のためにプロジェクトによって必要最小限のスタッフを雇用している。そのため中間評価でも「正式に設立される」をめぐって議論があった。アウトプット4に関してウェブページとニュースレター以外、適切な人材が確保されていない。</p>

【Q】Questionnaire 【I】Interview 【O】Observation 【R】Review

評価5項目による分析

評価項目 (中間評価の視点)	評価期間		データ・情報	
	調査大項目	調査小項目・質問ガイド		
妥当性 (アウトプット、プロジェクト目標、上位目標は、現在も目標として意味があるか)	1. 上位目標とプロジェクト目標はメンバー国の小学生や研修参加者、学校保健・寄生虫対策の関係者のニーズに合致しているか？	1-1. プロジェクトの対象となったガーナ国のモデル地区の小学生や住民にとって、学校保健をベースとした寄生虫対策は求められていたものであったか？	【Q】はい。寄生虫病は子どもたちの病気の主な原因であり、学校の長期欠席と成績の低下の原因でもある。したがって、対処能力を身につけることは望まれていたことであり、地元の教育・健康セクター、コミュニティ、国際研修参加者との関係者から支持されている。	
		1-2. メンバー国の学校保健・寄生虫対策関係者にとって学校保健をベースとした寄生虫対策のニーズは高いか？	【Q】はい。関係者全員が熱意をもって支持し、その実現のためにさらなる支援を求めている。 【Q】寄生虫対策のニーズはあるものの、地元にとって「最も優先度の高い」ものではないかもしれない。	
	2. 本プロジェクトは日本の援助政策やガーナ国のJICA事業計画に合致しているか？	2-1. プロジェクト目標、上位目標は日本の援助事業やJICAの国別事業実施計画に合致しているか？	【Review】 ・ 橋本イニシアティブ/国際寄生虫対策イニシアティブ(1997年/98年) ・ 保健と開発に関するイニシアティブ(2005) ・ 日本の対アフリカ感染症行動計画(2006) - 学校保健を通じた寄生虫対策への優先。 ・ ACIPAC-ESACIPACの設立とNTDへの認識の高まり。	
	3. 本プロジェクトはガーナの開発計画や保健計画、あるいはガーナ大学の事業計画と合致しているか？	3-1. プロジェクト目標、上位目標は現在のガーナの保健計画(または教育計画)と合致しているか？	【Q】はい。ガーナ学校保健プログラム(The Ghana School Health Education Programme: SHEP)は学校をベースとした寄生虫感染の減少と個人の衛生や環境の改善を目標としており、プロジェクトはこの目標を共有している。 国際的な枠組み・連携すべき動きとして、以下がある。 ・ ゲーツ財団の支援による住血吸虫対策イニシアティブ(Schistosomiasis Control Initiative: SCI)の開始 ・ WHOによる顧みられない熱帯病イニシアティブ(Neglected Tropical Diseases:NTDs)2007年4月 ガーナの優先事項、国家戦略 ・ 寄生虫対策に関する国家計画がある。2006年に国家駆虫タスクフォース会議が始まり、全国レベルでも駆虫が2007年2月に実施された。寄生虫対策に対する優先度がむしろ高まっている。 【Review】中間評価時の実施したGHSとGES / SHEPへのインタビューではWACIPACは日本の経験に基づいたアプローチに固執するのではなく、水と衛生環境、社会・先進的な面をも考慮したより包括的なアプローチを執るべきという意見があった。	
		3-2. プロジェクト目標、上位目標はメンバー国の寄生虫対策や学校保健プログラムと整合性があるか？	【Q】はい。メンバー国は寄生虫対策の重要性を病気による負担や経済的な損失から理解している。したがってメンバー国は寄生虫による疾病負担を減らす学校をベースとした戦略をもっている。	
	4. プロジェクトの戦略・アプローチの適切さに変わりはないか？	4-1. プロジェクト目標は上位目標を達成するための有効な手段であるか	【Q】はい。学校をベースとした寄生虫対策の人材養成と保健省と教育省の強い協調はWACIPACのアプローチとしてメンバー国によって重要と考えられている。 【Q】西アフリカ地域での寄生虫対策が推進されるために人材育成は有効な手段の1つである。ただ、一方で予算支援を含む政治的なコミットメントは必ずしも彼らの見方とは一致していない。	
		4-2. アウトプットはどれもプロジェクト目標を達成するための有効な手段であるか？	【Q】はい。 【Q】 Output2はOutput3(国際研修)の材料を提供するもので、直接プロジェクト目標を達成するための手段だとは考えにくい(これはプロジェクト目標の指標がOutput3、4、5に対応していることから分かる)。ただし、全てのアウトプットをWACIPAC内の人材育成のためと考えれば、目標を達成するための手段だとは言えるかもしれない。(dependent variable)。	
		4-3. プロジェクトの対象地域(ガーナのデモンストレーションサイト、メンバー国)の設定は適切であったか？	【Q】はい。 【Q】(1)ガーナモデルサイト(アダホア) モデルサイトで蓄積された経験や開発されたツールは国際研修の参加者が直接観察し、独自のアプローチを考えるヒントを与えるデモンストレーションサイトとして適切である。しかし、モデルサイトの寄生虫の感染率を代表していないように、いくつかの情報はメンバー国の状況に適用できないかもしれない。実際、モデルサイトはWACIPACプロジェクトが始まるまえから選定されていた。	
			【Q】重点支援国 ベナン ダンボ地区は首都近郊でありカウンターパートの関与が可能であり、かつ、ウエメ川の流域で住血吸虫症の高汚染地区である。 ニジェール ティラベリ州は首都の周辺地区であり、直接観察調査の実施に適当である	
	有効性 (プロジェクトの実施により期待される効果が得られるか、プロジェクトの有効性が確保される見込みはあるか)	1. プロジェクト目標 -WACIPACが西アフリカ地域のメンバー国の包括的な寄生虫対策のための人材養成機関としての役割を担う - は現時点での程度、目標が達成されたか？	1-1. プロジェクト目標のプロジェクト終了時点での達成度を示す指標の目標値をそれぞれの程度に設定したか？設定できなかったとしたら何故か？	【Q】はい。 プロジェクト目標の達成 ・ プロジェクト目標は毎年の国際研修を運営することで達成されている。メンバー国は寄生虫対策の政策と実施枠組みの開発・強化を通じて便益を得ている。重点支援国では、小規模事業支援活動による寄生虫対策の着手モデル開発が彼らに実践的な経験を提供している。しかし、この事業支援は2ヶ国に限られている。プロジェクト目標の指標は定性的であり、客観的な判断は困難である。対象グループへのアンケート調査が必要である。
			1-2. 現時点でプロジェクト目標はどの程度達成されたか？	
		2. プロジェクト目標の達成は、プロジェクトの「アウトプット」によって引き起こされた効果であるか？	2-1. プロジェクト目標の指標の変化は、プロジェクトのそれぞれの「アウトプット」が達成されつつある変化」によって引き起こされた結果と言えるか？	変化を観察できる指標は「国際研修を受けた参加者」のみであり、該当情報なし。
2-2. PDMIに記載されているアウトプットと実際の活動内容と合致しているか？またプロジェクト目標の達成のために、PDMIには記載されていないが相当量の投入・活動を行いアウトプットと呼べるようなものがあつたか？それはPDMIにアウトプットとして記載すべきか？			該当情報なし	
3. プロジェクト目標に至るまでの外部条件の影響はあるか？	3-1. プロジェクト目標に至るまでのPDMIに記載されている外部条件の影響はあるか？記載事項は次のとおり。 - アウトプット2に関してJICA以外の基金が確保される - アウトプット5に関して支援国の活動にかかる基金が確保される	ベニンに関してはベニン政府が支出する国家駆虫プログラムの一部を小規模事業支援で協力するという位置づけになっている。		
	3-2. またPDMIに記載されていないが影響を与えた外部要因はあるか？	該当なし		

	4. プロジェクトの有効性に影響を与えた貢献・阻害要因は何か？	4. プロジェクトの有効性に影響を与えた貢献・阻害要因は何か？	<p><促進要因> 【Q】野口研の強いオーナーシップ、職員の積極的な関与、モデルサイトと重点支援国サイトの高いモチベーション 定期的な国際研修の開催 学校での継続的な活動 【Q】プロジェクトスタッフの献身的な働き 政府関係者、コミュニティメンバーとの協調関係</p> <p><阻害要因> 【Q】言葉の壁、不十分なスタッフ(ガーナ、日本ともに)、コミュニティアプローチに関する関係者の異なった見方。重点支援国に対する支援の枠組み設定の遅れ。 中間時点でのPDMの変更が、モデルサイトでのコミュニティの関与が非常に限定された。 2ヶ国のみでの小規模事業支援はメンバー国との信頼性と彼らのやる気に影響を与えた。 2005年の国際研修が5ヶ国のみであったこともメンバー国との信頼性と彼らのやる気に影響を与えた。 【Q】ガーナ大学当局の支援を得るためにWACIPACの明確な役割と位置づけが必要。</p>
効率性 (投入された資源量に見合った活動が実施されているか、プロジェクトは効率的であると言えるか)	1. アウトプットを得るための活動に必要な投入の規模や質は適切か？	1-1. カウンターパートの専門性、人数、従事期間は適切であったか	【Q】野口研カウンターパートの専門分野は昆虫学や免疫学であり、寄生虫「対策」を行うべき位置にない研究者が多かったが、基本的には熱心に活動に参加した。実質カウンターパートと呼べる正職員は研究者が4名、技師2名程度で、それぞれの業務が忙しく人員は常に不足していた。R/Dに定義されていたガーナ保健サービス(GHS)やガーナ教育サービス(GES)とより密着して活動を進める方法もあったが、野口研に責任体制が重視された。
		1-2. 投入された機材の性能や数は適切であったか	機材 ・プロジェクトにて購入された機材はよく使用されていることから、投入内容・数共に適切だったと言える。一部機材は2005年12月以降、モデルサイトでの検査件数が減ったことから野口研に一步早く引き渡され、別の用途であるがよく活用されている。 【Q】はい。 【Q】WACIPAC事務所や必要機材はプロジェクトの早い時期に投入されたが、後半は最小限の事務機器にとどめられた。機器は総じてよく活用され、質と量ともに適切であった。 活動のための一般支出は2005年には25%であったが、2006/7には14%とスリム化が図られた。
		1-3. 専門家の専門性、人数、従事期間は見合ったものであったか	【Q】はい。 日本での研修 ・12名のカウンターパートが日本で研修を受けた。5名は寄生虫対策とシニアオフィサーのための事務管理のセミナーに出席し、日本の寄生虫対策の歴史など学び有益であった。これらのスタッフは国際研修コースやWACIPACの技術支援による重点支援国の小規模事業支援などに役立った。 国際研修 ・保健省と教育省の研修参加者はほかの関係者からの情報も得ながら、研修で得た情報を対象人口の寄生虫対策に活用している。
	2. 活動に必要な投入のタイミングは適切であったか？	2-1. カウンターパートは、タイミングよく配置されたか	【Q】WACIPACの設立はゼロから始めたので、プロジェクトは最小限のスタッフをプロジェクトで雇用する必要があった。現在も人的資源は不足している。
		2-2. 供与機材やカウンターパート側の便宜供与、予算手当て、機材等が早すぎたり遅れたりすることはなかったか	【Q】はい。
		2-3. 専門家はタイミングよく、派遣・配置されたか	【Q】日本人専門家 ACIPACとESACIPACは4人の長期専門家でプロジェクトを開始したのに対して、WACIPACは対象国(メンバー国)が多いにもかかわらず、プロジェクト開始以来3人体制で実施している。
	3. もっと早く効率的に実施できる代替手段はなかったか？	3-1. 活動の中で重複しているものはなかったか	N/A
		3-2. ほかに効果的な方法・手段はなかったか	N/A
	4. 活動からアウトプットに至るまでの外部条件の影響はあるか？	4-1. 活動からアウトプットに至るまでの外部条件の影響はあるか？今後モニターすべき外部条件はあるか？	【Q】はい。アウトプット5の活動をメンバー国で実施するための代替基金がなく、8各国は小規模事業を実施できなかった。 【Q】PDMで示されていた手段の実現性がプロジェクト開始時に十分検討されていなかった。
	5. 効率性の促進・阻害要因はなかったか？		<促進要因> 【Q】JICAの定期的な予算支出 PDMをもとにしたながらも専門家とC/Pの柔軟な活動計画の策定 <抑制要因> 【Q】西アフリカ地域センターとしての事務的な仕事の負担 ・ガーナは英語を使用しているが、西アフリカのほとんどの国はフランス語圏である。このことが翻訳・通訳などに2倍の労力と費用をもたらしている。 【Q】プロジェクトの早い時期、JICA地域事務所を含め事務やロジスティクスについて、メンバー国を支援するためのメカニズムの調整が不十分であった。 JICA予算年次とガーナの学校学期が一致しないため、10月-2月のみを対象とした計画にせざるをえなかった。
1. 上位目標 - WACIPACでの人材養成により、西アフリカサブ地域メンバー国において寄生虫対策プログラムが実施される - の達成見込みは、今後どのように予想されるか？	1-1. 上位目標の達成見込みは、3-5年後はどの程度か	【Q】保健省と教育省の省庁間委員会の設置や国家政策の策定などによってメンバー国の学校をベースとした寄生虫対策の自立発展性は高まっている。 【Q】ガーナは国家駆虫プログラムを行う体制を形成し、これからもその体制を通じて継続されることが期待される。 上位目標: ・WACIPACが現在の役割機能を継続するならば、期待されるインパクト「WACIPACでの人材養成により、西アフリカサブ地域メンバー国において寄生虫対策プログラムが実施される」は3-5年に実現されるだろう。ただ、現在のところ、予算の目処がたっていない。WAHOへの統合計画が提案されている。	
	1-2. プロジェクト目標が上位目標の達成にどの程度貢献するか？	【Q】教育省と保健省に加え、環境省や農業省などを巻き込んだ省庁間委員会を形成することによって、寄生虫対策と開発に関する幅広いパートナーシップがメンバー国に形成される。 【Q】この指標の分母がなく、関係者によってどの程度かが話し合われていない。WACIPACが存続し機能することが前提である。 【Q】ガーナについては、WACIPACのTOT研修への技術協力によって2007年2月に国家駆虫プログラムの実施が実現した。	

インパクト (プロジェクトの実施により間接的・波及効果を生みだしつつあるか、あるいは見込みがあるか)	2. 上位目標に至るまでにどのような外部条件の影響が考えられるか？	2-1. 上位目標に至るまでにどのような外部条件の影響が考えられるか？ PDMIに記載されているのは次のとおり。 →それぞれのメンバー国の寄生虫対策予算が減少しない →少なくとも国際研修参加者は寄生虫対策に積極的に参加している	【Q】それぞれのメンバー国の寄生虫対策予算が減少していない 【Q】一方、十分な予算確保は困難である。 ・ガーナについては職員の高齢化が懸念され、メンバー国でも同様の傾向があると考えられる。しかし、もし研修を受けた人材がほかに知識と技術を移植するならば、彼らによって活動は継続される。
	3. 現時点で予期しなかったプラスマイナスの影響・波及効果(上記の上位目標以外)はあったか？	3-1. 予期しなかったプラスのインパクトはあったか？	【Q】 メンバー国へのインパクト： ・ナイジェリアでは、WACIPACの国際研修ワークショップを通じて他国で経験できたことが、2006年に国家学校保健政策や学校保健プログラムの実施ガイドライン策定につながった。 ・ベニンでは、国際研修を受講した保健大臣と教育大臣が国家保健政策を2006年に制定した。学校保健と駆虫対策のための関係者の支援メカニズムと省庁間委員会が設立された。 ・ガーナでは、WACIPACスタッフが関係者をひとりずつ訪問し、関係者会議の開催の必要性を訴えた。それが国家駆虫タスクフォース形成につながった。学校保健政策のドラフトが策定された。 ・トゴでは、保健省と教育省に加え、農業省や環境省、地方自治体などを含めた省庁関連委員会の設立を通じて寄生虫対策と開発にむけた広範囲なパートナーシップが形成された。 ・マリ国では国際研修で学んだことを国家住血吸虫症対策に応用した。 ・学校保健と衛生の自己評価基準と現場で使える簡単な自己評価ツールを開発した。
		3-2. 予期しなかったマイナスのインパクトはあったか？	確認されていない。
	4. 上位目標の達成に影響を与えた貢献・阻害要因は何か、また今後予想される貢献・阻害要因は何か？	4. 上位目標の達成に影響を与えた貢献・阻害要因は何か、また今後予想される貢献・阻害要因は何か？	N/A
自立発展性 (プロジェクトの効果は協力終了後も持続していく見込みはあるか)	1. プロジェクトが開始した活動は継続して行われるか？	1-1. JICAプロジェクトチームの役割と活動を継続するためにどの組織がそれらの役割を担うのか？	【Q】以下がJICAのプロジェクトチームの役割を担い、活動を継続する(予定) ・ガーナ大学/野口研(NMIMR) ・西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS) ・西アフリカ保健機構 (WAHO) ・世界保健機構(WHO) ・コミュニティ指向開発基金 (Community Directed Development Foundation:CDDF) オーナーシップ ・野口研のコミットメントとオーナーシップは非常に高い メンバー国との将来計画 ・2008年7月の国際研修(プログラムマネジャー、保健省と教育省の政策立案官がWACIPACの将来とともに西アフリカサブ地域での寄生虫対策の将来を話し合う。 自立性をもった地域センター ・大学からは予算とフルタイムの人員をともなったセンターとしては正式に名乗ることを許可されていない。一方、WACIPACを継続させるためには、外部資源が必要になっている。外部資源を確保し、活動を継続させるためにWACIPACをECOWAS傘下のWAHOに組み入れることが検討されている。 【Q】現在、ガーナ大学または野口研から独自の予算はでない。人材を含めた外部資源を確保するために WAHOとの協調関係が検討されている。
		1-2. 機材や施設、人材は将来も継続的に提供されるのか？ どの程度その組織が資源を提供するのか？	【Q】ガーナ大学/野口研は以下の資源を提供する ・野口研は寄生虫調査の継続のための機材を提供する。 ・野口研は技術者とシニア寄生虫対策専門家を提供する。 メンバー国との将来像 ・2008年7月の国際研修(プログラムマネジャー、保健省と教育省の政策立案官がWACIPACの将来とともに西アフリカサブ地域での寄生虫対策の将来を話し合う。 【Q】フィールド・リサーチの結果はまとめられ、論文にまとめられる予定。当面は、リサーチで得られたデータを部分的に使用して論文を執筆し、学会に発表していく予定。
	2. 投入された機材、技術移転を受けた人材・組織は今後も有効に活用されるか？	2. 投入された機材、技術移転を受けた人材・組織は今後も有効に活用されるか？	・2008年7月の国際研修(プログラムマネジャー、保健省と教育省の政策立案官がWACIPACの将来とともに西アフリカサブ地域での寄生虫対策の将来を話し合う。
	3. プロジェクトの成果を継続するために実施組織は財政や人材、システムに関するビジョンはあるか？	3-1. WACIPACを通じて得られたノウハウをどう活用するか？ 3-2. WACIPACとメンバー国はどのようにプロジェクトの経験を応用するか？	【Q】野口研はWACIPAC事務所のユーティリティと維持管理費を提供していく予定。WACIPACで配置されたスタッフはもとも野口研の寄生虫学課に配置されているスタッフである。現在は学校をベースとした寄生虫対策プロジェクトの柱に据えているが、継続すべき活動に関するこれまでの傾向とWACIPACの役割については、2008年7月の国際研修の中で議論する。 【Q】メンバー国は自国の寄生虫対策を支援していく。 ・野口研のWACIPACスタッフはWHOや他機関による支援による研修プログラムに協力する。 【Q】保健省・教育省・研究所間の連携、かつ国家対策の必要性を訴えてきたので、メンバー国にもこの必要性が認識され、関係機関の連携促進が図られていくだろう。 【Q】ガーナはJICA専門家により作られた教材やツールを国家駆虫プログラムに活用していく。
4. 自立発展性に影響を与えた貢献・阻害要因は何か、また今後自立発展性に影響を与えるであろう貢献・阻害要因は何か？	4. プロジェクト活動・アウトプットに関する自立発展性に影響を与える貢献・阻害要因は何か？	【Q】プロジェクトの学校をベースとした寄生虫対策はWACIPACの現在の役割と期待される役割のギャップを生じた。包括的な寄生虫対策は広い概念を持つので、現在配置されているスタッフが学校をベースとしたアプローチに完全に適合していない。	

【Q】Questionnaire 【I】Interview 【O】Observation 【R】Review

3. 質問票

①ガ－ナ実施機関関係者向け質問票

0. Please provide the necessary information and check the appropriate box below. Some of questions can be answered by other responsible person or sections. In that case, please specify the all name and position of persons and sections.

Name:	The answer sheet reflects the view of : <input type="checkbox"/> myself <input type="checkbox"/> responsible persons and section (specify: _____)
Position / institution:	

--Achievement --

1. Through your involvement of WACIPAC trainings / activities, what kinds of personal networking was established in terms of professional interaction, frequency of communication, and mode of communication? Please list up the communicating professionals with number, frequency, and mode in the blank table refer to the example below.

(1) Example

Professionals	Number	Frequency	Mode
<input type="checkbox"/> Participants of the International training course	3	Monthly	e-mail
<input type="checkbox"/> Ghana expert	1	Monthly	e-mail
<input type="checkbox"/> JICA expert	3	Twice a month	telephone
<input type="checkbox"/> CIPACs	1	Every two month	Mailing list

(2) Blank table

Professionals	Number	Frequency	Mode

- Project team --

2. How were the project management structure formulated? How did it function?

- Decision-making and method of resolving problem on the project management
- Communication method within the team.

3. Was there any constraint to the smooth implementation of activities?

4. Was there any promoting factor for the implementation of activities?

5. Monitoring mechanism

(1) What extent is the PDM understood among key stakeholders? Was the PDM revised?

(2) How was the project monitoring conducted?

6. Response to the external assumption. Was there any external condition that affected the project? How do you feedback the monitoring results to the Project implementation?

7. Response to the pre-condition. Is there any change on the following pre-conditions in PDM? If there was a change, how did you cope with it?

8. Has there been sufficient communication between C/P and Japanese experts? Is common objectives shared between C/P and Japanese experts?

9. What extent have the target groups including school pupils and their families been involved in the project? Are they informants to provide necessary information for design project activities or participants who share the problems and objectives, respondents who give feedbacks to the quality of trainings?

10. Project ownership

(1) Did the responsible persons for the project management regularly meet and exchange the project information?

(2) What kind of initiatives has Ghana side taken since the project had commenced?

--Relevance--

11. Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with the needs of the school pupils, the expected participants for training, and relevant stakeholders in the member countries?

(1) Were the interventions necessary for the residents and pupils of the demonstration model site in Ghana and were the projects necessary for the membership countries?

(2) Were the interventions acceptable for the local government organization, intermediate groups, and participants in training?

12. Are the Project Purpose and Outputs consistent with Ghana and the members countries of WACIPAC's Socio-economic development programme, long-term health plan, and/or Education (or School health) strategy?

(1) Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with Ghana's parasite control or school health programmes and strategies?

(2) Are the Overall Goal and the Project Purpose consistent with the member countries' parasite control or school health programme?

13. Is the project strategy being undertaken still appropriate? In other words;

(1) Is the Project Purpose still effective means to achieve the overall Goal?

(2) Is each Output still effective means to realize the Project Purpose?

(3) Are the selected target groups and areas still appropriate?

--Effectiveness --

14. To what extent the project purpose - WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities of the member countries in the West African sub-region. - has achieved?

- (1) Are the indicators for the project purpose rational and appropriate?
- (2) Will the project purpose be achieved at the end of the project?

15. What were the contributing / inhibiting factors which affected the effectiveness of the project?

- (1) Contributing factors
- (2) Inhibiting factors

--Efficiency-

16. Were the Inputs appropriate in terms of quality and quantity? In other words;

- (1) Were the quality and quantity of supplied equipment and materials for each Output appropriate?
- (2) Were the capacity and technical specialty of the JICA experts in the Project appropriate?

17. Were the Inputs delivered in timely manner? In other words;

- (1) Were the relevant materials and equipment delivered to the counterparts in timely manner?
- (2) Were the Japanese experts dispatched in timely manner?
- (3) Were trainings timely organized?

18. Was there alternative means for achieving each Output efficiently? For instance;

- (1) Were there any activities overlapped with other institution?
- (2) Were there any other alternative means and methods?

19. Was there any influence of important assumption that affected the achievement of the Output? Followings are shown in PDM as the external assumptions which affect the achievement of the Output.

- Fund for intervention is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 2
- Fund for activities in supporting countries is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 5

20. What were the contributing / inhibiting factors which affected the efficiency of the project?

- (1) Contributing factors
- (2) Inhibiting factors

--Impact—

21. Prospect of achievement on the parasitic diseases control programmes of the member countries in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC. In other words;

- (1) Will school-based parasitic control programmes be actively implemented in the member countries?
- (2) Will 80% of target personnel involved in parasite control and school health programmes in the member countries successfully receive training at WACIPAC?

22. Will the Project contribute to realize each of Overall Goals? What else will the Project produce positive impact?

23. How do you see or predict the influence of the important assumption to realize the Overall Goals? Followings are indicated in PDM as external assumptions.

- Adequate budgetary support to parasitic disease control from all stakeholder Governments does not decrease in respective countries.

- At least half of trained personnel actively participate in parasite control activities.

24. Do you recognize any unexpected Positive impacts?

25. Do you recognize any unexpected Negative impacts?

26. Is there (or will there be) any contributing or inhibiting factor to lead the Overall Goals? Or what will be expected contributing / inhibiting factors which may affect the achievement of the Overall Goals?

--Sustainability--

27. Prospects of appropriate utilization of the Output and continuation of the project activities.

(1) Which organization will take up the JICA's project team and continue the project activities?

(2) Will equipment, facilities and human resources be appropriately and continuously provided in the future? To what extent do the University of Ghana/ NMIMR provide those resources?

28. Are there any prospects that the implementing agencies - NMIMR can secure human resources, finance, and system in order to continue the outcome of the project?

(1) How does current WACIPAC utilize the know-how of the project to other area?

(2) How do the member countries and WACIPAC apply the experience of the project?

29. What were contributing and inhibiting factors, which affected sustainability of the project?

END

②日本人専門家向け質問票

0. お名前と組織でのポジションを下記ボックスに記入してください。また、ご自分以外の方と相談して記入した場合は、すべての方のお名前を明記してください。

名前:	この回答の見解は： <input type="checkbox"/> 私自身のみ <input type="checkbox"/> 以下の構成員の意見を反映している (名前と役職)
所属/ 役職:	

--Achievement --

1. プロジェクト目標：「WACIPAC が西アフリカにおいて包括的な寄生虫対策のための人材養成機関としての役割を担う」の達成度についてのプロジェクト開始時の期待値と現況の検討が可能ですか？

指標・判断基準	想定・期待していた数値 または状態	現在の数値または状態
1. WACIPAC が西アフリカにおいて学校保健をベースにした包括的寄生虫対策のための人材養成を対象者の6割以上に対して行う。	プロジェクト期間内で受けると想定されていた人数 ()	実績数 ()
2. WACIPAC が西アフリカにおける中心的な寄生虫対策研修センターとなり、認知度が高まる（研修参加者の6割が満足、開発パートナーの6割がいずれかの活動を認知？）	質問票形式で情報収集を検討	
3. WACIPAC がハブとなり、西アフリカの寄生虫対策関係者間のネットワークを形成する	質問票形式で情報収集を検討	
4. 支援する国の学校保健と各種寄生虫対策に関する政策の枠組みや事業が WACIPAC によって強化される	期待していた政策の枠組みと事業リストを箇条書きに <input type="checkbox"/> 政策枠組み <input type="checkbox"/> 事業メニュー	左記リストに対して満たされた政策枠組みと事業リストの現況 <input type="checkbox"/> 政策枠組み <input type="checkbox"/> 事業メニュー

2 アウトプット-1:「WACIPAC の組織能力が強化される」の達成度についてのプロジェクト開始時の期待値と現況の検討が可能ですか？

指標・判断基準	想定・期待していた数値 または状態	現在の数値または状態
1. WACIPAC がガーナ大学との正式な規約に基づいてスタッフや予算を伴った大学のセンターとして設立される	「設立されている」とされる要件をリストアップ 例： 1.組織図 2.研修職員 2人 常任 3.ジョブディスリプション 4.年間予算	現在、満たされている要件をリストアップ
2. マネージメント会議とジョブセミナーが定期的に行われる	想定されていた会議の категорияと数をリストアップ（議事録などが記録され、問題解決の場として機能していたことが前提）	満たされた会議の categoria と数
3. WACIPA のスタッフがオペレーションリサーチと研修マネジメントに関する知識と技術を獲得する	想定されていたスタッフの内部評価基準、なければ要件をリストアップ	満たされた要件をリストアップ

3 アウトプット-2:「ガーナ国内におけるフィールドリサーチを通じて、学校保健による寄生虫対策のモデルが開発される」の達成度についてのプロジェクト開始時の期待値と現況の検討が可能ですか？

指標・判断基準	想定・期待していた数値 または状態	現在の数値または状態
1. 行動変容コミュニケーション（BCC）のための IEC 教材が開発され、テストされる	想定されていた IEC 教材の categoria と数（品質はテストによって保障されていることが前提）	実績（categoria と数）
2. モデルプロジェクト地区の小学生とコミュニティが寄生虫に関する知識を獲得し、予防行動をとる	2002年 KAP 調査による」知識と行動変容の項目の数値 2002年の項目と2007年の項目で一致するもののみ。必要ならば別紙で。	2007年 KAP 調査による」知識と行動変容の項目の数値
3. 学校・コミュニティアプローチの効果が科学的に検証される	マラリア予防教育の学校からコミュニティへの波及に関する研究の結論部分の予測	

4. 国際研修のための適切なモデルとしてデモンストレーション地区が確立される	「適切なモデル」とされる要件をリストアップ	現在、満たされている要件をリストアップ
--	-----------------------	---------------------

4 アウトプット-3:「国際研修およびそのフォローアップを通じて、メンバー国の政策立案者、プログラムマネージャーが学校保健をベースとした寄生虫対策の知識や技術を獲得する」の達成度についてのプロジェクト開始時の期待値と現況の検討が可能ですか？

指標・判断基準	想定・期待していた数値または状態	現在の数値または状態
1. 国際研修で少なくとも 10 のメンバー国から 100 人が研修を受ける	期待値 10ヶ国から 100 人	実績 ヶ国 人
2. 国際研修の参加者はフィールドでの寄生虫対策の実践の中で経験と自信を得る	国際研修評価記録で「フィールドでの寄生虫対策の実践の中で経験と自信」につながる評価項目の期待値	国際研修評価記録で「フィールドでの寄生虫対策の実践の中で経験と自信」につながる評価項目の実績値
3. 支援国の参加者・機関は学校を基礎とした寄生虫対策に関する計画と実践の管理技術を身につける	支援国でのインタビュー・ミニワークショップで、提案書または計画書、管理ツール、実践からの経験、問題解決法などを聞く予定	

5. アウトプット-4:「WACIPAC がメンバー国の情報ネットワークの拠点として機能し、3つの国際寄生虫対策センター間のネットワーキングを推進する」の達成度についてのプロジェクト開始時の期待値と現況の検討が可能ですか？

指標・判断基準	想定・期待していた数値または状態	現在の数値または状態
1. WACIPAC 内に情報交換と交流のためのデータベースやハブが形成される	情報ネットワークの拠点となるためにどのようなハードの要件とソフト（戦略や管理体制）要件が想定されていたかリストアップ	現在、満たされている要件をリストアップ
2. ウェブを通じた情報共有システムが開発される	上記に加えてもよいが、例えばハード（データベースやウェブにのせる情報を格納するコンピューターとネットワーク）とソフト（組織内の戦略と管理体制）などについて簡単に要件をブレイクダウン	現在、満たされている要件をリストアップ

3. WACIPAC による定期的なニュースレターが発刊される	想定されていた頻度と部数	実績（頻度と部数）
4. 科学的な会議での2回の発表と小なくとも5本の論文を発刊	科学的な会議での2回の発表と小なくとも5本の論文を発刊	実績をリストアップ

6. アウトプット-5:「重点支援国が学校保健をベースとした寄生虫対策活動を開始する」の達成度についてのプロジェクト開始時の期待値と現況の検討が可能ですか？

指標・判断基準	想定・期待していた数値または状態	現在の数値または状態
1. 少なくとも2つのメンバー国が WACIPAC の支援によって学校保健を基礎とした寄生虫対策を開始する	契約(agreement)の骨子	実績（国毎に、満たされた契約骨子をチェック）
2. 支援国で少なくとも30人のフロントラインオフィサー（実践責任者？）が研修を受ける	期待値：30人	実績値
3. メンバー国で、マネジメント、保健政策立案、オペレーションリサーチなどに関する技術と技能のレベルが上がる	研修実施者から見た参加者のマネジメント、保健政策立案、オペレーションリサーチのレベル	周辺国へのモニタリングやフィードバックを通じての現在の保健政策立案、オペレーションリサーチのレベル
4. 支援国で寄生虫対策活動のための学校保健を基礎とした実践について提案がまとめられる	毎年の契約（agreement）前の先方提案と提案方法の種類（提案の方法—例えばワークショップによる参加型計画、PDMの作成、文章による提案書、政策もふくめた提案など）	実績

7. WACIPAC プロジェクトでは専門性を介して人的なネットワーク形成をアウトプットのひとつとしていますが、専門家間の交流、コミュニケーションの頻度、コミュニケーション形態という観点からプロジェクト活動を通じて新たにどのようなネットワークが形成されましたか？ 事例を参考にコミュニケーションのある専門家のカテゴリーをリストアップし、その人数、コミュニケーション頻度、コミュニケーションの形態を書き入れてください。

(1) 事例

専門家	人数	頻度	形態
<input type="checkbox"/> 国際研修参加者	3	毎月	電子メール
<input type="checkbox"/> ガーナ専門家	1	毎月	電子メール
<input type="checkbox"/> JICA 専門家	3	年に2回	電話で相談
<input type="checkbox"/> CIPACs	1	年に1回	電子メール

(2) 記入欄

専門家	人数	頻度	形態

- Project team -

8. プロジェクトチームは、どのような運営形態を形成していますか？ どう機能しましたか？ 例えばプロジェクト管理に関わる決定や問題解決法やチーム内のコミュニケーション、役割分担など。

9. 活動は順調に進んできましたか、活動を阻害している要因がありましたか？

10. 十分に実施されていない活動はありますか、あるとしたらその原因は何ですか？

11. モニタリングメカニズム

(1) PDM は誰にどのような範囲で理解されていきましたか、PDM の改定はなされましたか？

(2) モニタリング（プロジェクトの進捗状況の確認）はどのように行われていきましたか？

12. 外部条件に対し変化はありましたか。変化があった場合、誰がどのように対応しましたか？

13. 前提条件に対し変化はありましたか。変化があった場合、誰がどのように対応しましたか？

14. 専門家と C/P の間で十分なコミュニケーションが図られていましたか？

15. 受益者のプロジェクトへの関わり方で、小学生やその家族といった受益者はどのようにデモンストレーションサイトの活動に関与していましたか？ 例えば情報の収集や計画への参加という面での関与ですか？ 問題の共有と実施への参加という面での参加ですか？ プログラム・プロジェクトの評価やフィードバックという面での関与ですか？

16. オーナーシップ

- (1) ガーナ側のプロジェクト責任者は定期的な会合を持ち情報交換に関わっていますか？
- (2) ガーナ側はどのようなイニシアティブをとっていますか？

--Relevance--

17. 上位目標とプロジェクト目標はメンバー国の小学生や研修参加者、学校保健・寄生虫対策の関係者のニーズに合致していますか？

- (1) プロジェクトの対象となったガーナ国のモデル地区の小学生や住民にとって、学校保健をベースとした寄生虫対策は求められていたものでしたか？
- (2) メンバー国の学校保健・寄生虫対策関係者にとって学校保健をベースとした寄生虫対策のニーズは高いものでしたか？

18. プロジェクトの戦略・アプローチの適切さに変わりはないですか？

- (1) プロジェクト目標は上位目標を達成するための有効な手段ですか？
- (2) アウトプットはどれもプロジェクト目標を達成するための有効な手段ですか？
- (3) プロジェクトの対象地域（ガーナのデモンストレーションサイト、メンバー国実践地域）の設定は適切でしたか？

--Efficiency-

19. プロジェクトの有効性に影響を与えた貢献・阻害要因は何ですか？

- (1) 貢献要因
- (2) 阻害要因

--Efficiency-

20. アウトプットを得るための活動に必要な投入の規模や質は適切でしたか？

- (1) カウンターパートの専門性、人数、従事期間は適切でしたか？適切でないとしたら何故ですか？
- (2) 投入された機材の性能や数は適切でしたか？

21. 活動に必要な投入のタイミングは適切でしたか？

- (1) カウンターパートは、タイミングよく配置されましたか？
- (2) 供与機材やカウンターパート側の便宜供与、予算手当、機材等が早すぎたり遅れたりすることはなかったですか？
- (3) 専門家はタイミングよく、派遣・配置されましたか？
- (4) 日本へのC/P研修はタイミングよく派遣されましたか？

22. もっと早く効率的に実施できる代替手段はなかったですか？

- (1) 活動の中で重複しているものはなかったですか？
- (2) ほかに効果的な方法・手段はなかったですか？

23. 活動からアウトプットに至るまでの外部条件の影響はありませんでしたか？PDM には以下の2つが外部条件として記載されています。

-Fund for intervention is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 2

-Fund for activities in supporting countries is secured from some funding resources other than JICA concerning Output 5

24. プロジェクトの効率性に影響を与えた貢献・阻害要因がありますか？

- (1) 貢献要因
- (2) 阻害要因

--Impact--

25. 上位目標「WACIPAC での人材養成により、WACIPAC 周辺国において寄生虫対策プログラムが実施される」の達成見込みは、今後どのように予想されますか？

- (1) メンバー国（＝周辺国）で学校保健を基礎とした寄生虫対策が積極的に取り入れられ実施されると予測しますか？
- (2) メンバー国の学校保健と寄生虫対策に関わる人々の80%がWACIPACの研修を受けると予測しますか？

26. プロジェクトは上位目標の実現にどの程度貢献しますか？

27. 上位目標に至るまでにどのような外部条件の影響が考えられますか？PDM には以下の2つが外部条件として記載されています。

- Adequate budgetary support to parasitic disease control from all stakeholder Governments does not decrease in respective countries.
- At least half of trained personnel actively participate in parasite control activities.

28. 現時点で予期しなかったプラスの影響・波及効果（上記の上位目標以外）はありますか？

29. 現時点で予期しなかったプラスマイナスの影響・波及効果（上記の上位目標以外）はありますか？

30. 上位目標の達成に影響を与えた貢献・阻害要因は何ですか、また今後予想される貢献・阻害要因は何ですか？

--Sustainability--

31. プロジェクトが開始した活動は継続して行われますか？成果は継続して活用されますか？

- (1)WACIPAC の強化に関する活動への人材、計画、予算、体制はどのように継続される予定ですか？
- (2)ガーナ国内におけるフィールドリサーチの活動はどのように継続されていきますか？得られた成果はどのように利用する予定ですか？

32. ガーナ大学野口記念医学研究所はどの程度、資源をこの体制、活動に投入する予定ですか？

- (1)WACIPAC はどの程度、得られた成果を他の地域に広めていく予定ですか？
- (2)メンバー国と WACIPAC はプロジェクトの経験をどう活用していく予定ですか？

33. 自立発展性に影響を与えた貢献・阻害要因は何ですか、また今後自立発展性に影響を与えるであろう貢献・阻害要因は何ですか？

以上

③国際研修参加者（メンバー10カ国）向け質問票

0. Please provide the necessary information and check the appropriate box below. Some of questions can be answered by other responsible person or sections. In that case, please specify the all name and position of persons and sections.

Name:	The answer sheet reflects the view of : <input type="checkbox"/> myself <input type="checkbox"/> responsible persons and section (specify: _____)
Position / institution:	

--Achievement --

1. WACIPAC was established to perform the role of capacity building for integrated parasite control activities of the member countries in the West African sub-region. Through your experience of training at WACIPAC, how did you assess the overall performance of training programme? Please consider every element of the training programme such as relevance of your country's need, training theme, scale of participants, duration, curriculum, provided materials, and training programme management.

(1) Overall performance of the training programme is:

- Excellent Satisfactory Not satisfactory Poor

(2) Do you recommend the training programme to other people?

- Very much To some extent Not much Not at all

2. WACIPAC was expected to take multi role of capacity building for integrated parasite control.

(1) To what extent do you recognize that WACIPAC plays training role of integrated (school based) parasite control?

- Very much To some extent Not much Not at all

(2) To what extent do you recognize that WACIPAC plays the hub of global information network for parasite control?

- Very much To some extent Not much Not at all

(3) To what extent do you recognize that WACIPAC implements operational research for integrated (school based) parasite control?

- Very much To some extent Not much Not at all

3. Through your involvement of WACIPAC trainings / activities, what kinds of personal networking was established in terms of professional interaction, frequency of communication, and mode of communication? Please list up the communicating professionals with number, frequency, and mode in the blank table refer to the example below.

(1) Example

Professionals	Number	Frequency	Mode
<input type="checkbox"/> Participants of the International training course	3	Monthly	e-mail
<input type="checkbox"/> Ghana expert	1	Monthly	e-mail
<input type="checkbox"/> JICA expert	3	Twice a month	telephone
<input type="checkbox"/> CIPACs	1	Every two month	Mailing list

(2) Blank table

Professionals	Number	Frequency	Mode

4. After the training at WACIPAC, to what extent your knowledge and skill are applied?

- (1) Have you trained frontline officers? If you have done, how many of them are expected to have a training of school based parasite control and how many of them were trained by you?
- (2) Have you applied the knowledge and the skills such as management, policy formulation, and operational research in your country? If you have, please specify.
- (3) Have you made a recommendation regarding school based parasite control program? If you have, please describe briefly the content and the consequence of the recommendation.

5. WACIPAC conducts the follow-up visits after international training. Do you think how much this scheme is valid?

- Very much To some extent Not much Not at all

6. Would you specify the reason why you have selected the above?

END

④開発パートナー向け質問票

0. Please provide the necessary information and check the appropriate box below. Some of questions can be answered by other responsible person or sections. In that case, please specify the all name and position of persons and sections.

Name:	The answer sheet reflects the view of : <input type="checkbox"/> myself <input type="checkbox"/> responsible persons and section (specify: _____)
Position / institution:	

--Achievement --

1. WACIPAC was expected to take multi role of capacity building for integrated parasite control.

(1) To what extent do you recognize that WACIPAC plays training role of school based parasite control?

Very much To some extent Not much Not at all

(2) To what extent do you recognize that WACIPAC plays the hub of global information network for parasite control?

Very much To some extent Not much Not at all

(3) To what extent do you recognize that WACIPAC implements operational research for school based parasite control?

Very much To some extent Not much Not at all

2. WACIPAC project was expected to strengthen collaboration with international organizations in conducting training courses/workshops. Do you recognize the activity;

Very much To some extent Not much Not at all

3. WACIPAC was also expected to encourage the collaboration of concerned stakeholders in the Supporting countries for the field of school health based intervention for parasite control. How do you assess these efforts? The collaboration has occurred;

Very much To some extent Not much Not at all

4. Would you specify what area of collaboration has come a reality?

END

4. 合同評価会議実施記録（ベナン・ニジェール）

Joint Evaluation Meeting for the Start-up Project under WACIPAC

1. Agenda

How can the experience of small scale pilot project be shared with partners?

2. Objectives of the meeting / mini-workshop

- (1) The meeting / mini-workshop is expected to have opportunities for concerned stakeholders to learn the lessons through self-assessment and to feedback their findings to the WACIPAC project.
- (2) JICA evaluation team is expected to have direct interview/discussion with officials who had participated in WACIPC training programme to collect information concerning the performance of WACIPAC project.

2. Destination to visit

- Benin
- Niger

3. Time table and activities under Group Meeting / Mini workshop)

A. Mini-workshop regarding to small scale pilot project (refer to example of workshop process)

8:30 – 9:00	Time in
9:00 – 9:20	(1) To introduce each other
9:20 - 10:20	(2) To commoditize the objectives of the meeting / workshop (3) To list the all outputs produced by support from small scale pilot project scheme using post-it cards so that every participant can concentrate on the focus of discussion. (4) To discuss and agreed on who are the direct beneficiary of each output and what is the expected objective as a result of produced these outputs (5) To list up important activities and inputs under each output. (6) To develop the overall objective or directed objective as end of the project purpose... (7) To make sure who were the responsible agency for the pilot project.
10:20 -10:35	Cofee break
10:35-11:50	(8) To point and share a successful item / event and unsuccessful item / event associated with project implementation and management, and discuss about the cause of promoting factors and inhibiting factors induced such events or problems. (9) To point and share good performances and poor performances concerning effectiveness and relevance, and discuss about considerable causes for the both good and poor performance. (10) To assess the overall reproducibility (if the pilot project can be applied to other place) considering performance of intervention, management capacity and given context. (11) To develop recommendations for the responsible organization based on the analysis.

1. Summary

The objective of the start-up project in Benin will be in general achieved within the Project period except the completion of self evaluation criteria. The experiences of school based de-worming activities in Dangbo community have been summarized with various forms such as Teachers' manual, pamphlet and field assessment tool. The data collected from field assessment wait for the compilation and analysis so that it will be accomplished within the Project period. In the joint evaluation meeting (workshop), the collaboration between JOCV, responsible ministries and the WACIPAC were encouraged for synergy effect on school health since the members of JOCV work in similar field.

Previously, as the management mechanism for budgetary outlays between WACIPAC, Benin, and JICA, it took certain time for parties in charge to have understood. Relevance and effectiveness the start-up project is high though, efficiency was the issue in earlier stage. There was a situation that JICA expert for support was obliged to travel Cotonou via Paris for initial visit. In general, policy commitment of Benin on school-based parasite control and the existing experience through other partner contributed the realization of the objective.

The objective of start-up project is, in other words, replicability to scale up the activities in the country. This is also associated with sustainability of WACIPAC project. The start-up project put the harmonization workshops as institutionalizing device for replicability by sharing development process. This also made possible for partners to consider the integration of tools into their programme. Use of school cluster is now considered as an approach to scale up the school based de-worming.

2. Achievement of Start up project objective

Project Objective: "Experiences gained from school-based parasitic disease control activities are summarized to expand activities country-wide" will be achieved within the start-up project period. The all outputs described below contribute the achievement.

3. Achievement of output

- (1) Donor collaboration is promoted with regards to school based parasitic diseases control activities.

The activities under this output were succeeded to the output (4). See the output (4)

- (2) De-worming strategy is developed through the experience of the start-up training in Dangbo.

The output was achieved". Developed tools for evaluation of trainings
-Benin Initiative Health Promoting School

- (3) Attitude on health behaviour and hygienic practices on preventing and controlling parasitic disease is improved in Dangbo community

"The output was achieved". The project made drugs available for systematic de-worming of children of school age. Thus, lead to develop National helminthes control strategy among children of school age

Tools for field assessment on behaviour change was also developed and tested but need to refine the tool so that it will be more appropriate and valid.

- (4) Stakeholder collaboration is promoted with regards to school-based parasitic diseases control and health promotion activities

"The output will be achieved within the start-up project period". Had three harmonization meetings and lead to develop a proposal of action plan for the start-up project (A base for the agreement). Current and past activities on school health of partners are being mapped out and in still progress.

Need to further discussion for harmonization and institutionalization of tools and experiences developed.

(5) Strategy on training of trainers at regional level is developed

“The output will be achieved”. Tools were developed as intermediate output.

-Dear Children, Let us remain clean so as to be in good health and be alert in class

De-worming training for teachers and microscopy training were carried out. Teachers’ training in the Littoral Region on NTDs and the promotion of Benin HPS is planned.

(6) The pilot strategy on school health promotion is implemented

“The output will be achieved”. Developed the following tool with contribution of knowledge, experiences and comments from WFP,WHO, UNICEF, FRESH, HPS, Thai malaria

-Parasitic disease control among children of school age, Teachers’ manual

-IEC materials, flip chart, poster

Development of Benin HPS Auditors’ guide will be developed .

4. Observed findings and key opinions

- The start-up project was not realized without the political commitment and continuous support from respective authorities in Benin.
- In the process for developing tools, it is understood that key stakeholders such as WFP, WHO and UNICEF were some extent involved in harmonization workshops.
- Need to further assess the replicability of tools and experiences with the view of strengths and weakness.
- The persons who are responsible for the start-up project, in particularly BSS of MoE, well understood the activities and process of the start-up project. It is recognized that the effects of international trainings held in WACIPAC on management and research.
- The outputs were summarized in tools and documents but need further assessment from the view of replicability.

5. Analysis and recommendation

Area	Successful / Contributing factors	Unsuccessful / inhibiting factors	Recommendation	To whom
Performance (Effectiveness)	<ul style="list-style-type: none"> High degree of political commitment Stability of political support Contribution and involvement of parents in school based parasite control Harmonization of Education sector and health sector including partners 	<ul style="list-style-type: none"> Shortage of materials for washing (soap etc.) Lack of latrine 		
Management/pr ocess	<ul style="list-style-type: none"> High degree of political commitment Stability of political support Contribution and involvement of parents in school based parasite control Harmonization of Education sector and health sector including partners 	<ul style="list-style-type: none"> Difficult to understand the change of JICA management on budgeting procedure Hard access for JICA experts to Benin from WACIPAC fro support and follow-up (M&E) Lack of communication between Ministries and volunteers (particularly JOCV) 	<ul style="list-style-type: none"> Institutionalize coordination among partners Communicate with JOCV Cooperation with local NGOs Continues bridge with donor partnership 	<p>MoH, MoE, WACIPAC, JICA JOCV, Relevant ministry Ministries WHO, UNICEF, WACIPAC</p>
Replicability (Scale up of school-based parasite control with in HPS)	<ul style="list-style-type: none"> Developed appropriate tools Facilities for washing hands with other partners 	<ul style="list-style-type: none"> Too many trainees for TOT Lack of communication between WACIPAC and UMCBR 	<ul style="list-style-type: none"> Use school cluster system (2 pcs) per a school cluster under supervision of circulate officer) 	

1. Summary

The objective of the start-up project in Niger will be achieved within the Project period. The development of self-assessment criteria including its user guide and example of activities have been summarized in simple forms. They are also accepted as common tools by the responsible government unit and partners for scaling up through their channel.

A national harmonizing workshop enabled consensus building in terms of exchanging experience among stakeholders and developing a proposal for self evaluation criteria. A meeting with regional authorities to validate the self-assessment criteria was essential process to discuss the preparation and local appropriateness of the tools for testing. Trough series of meetings, the start-up project produced "example of activities", "Instruction manual on the use of assessment sheet", "Table of programme of activities", and "Assessment sheet of school health and hygiene". Field trial was conducted from November, 2008 to February, 2007, and the results were presented to the concerned stakeholders in March 2008.

During the joint evaluation meeting (workshop), the participants pointed out the positive factors to realize the development of the self assessment criteria. First of all, involvement of stakeholders such as NGOs, WFP and UNICEF, and they were very cooperative to the start-up activities. Secondly, JOCV's comprehensive group activities inspired the potentiality of supporting area and least cost approach. A person in charge for the WACIPAC in JICA Niger bridged the necessary communication gap between Ministries, JOCV group activities, and WACIPAC. Thirdly, school authority and parent management committee were supportive. For instance, they also contributed to the activities by providing a jar, bloom etc.

The objective of start-up project is, in other words, replicability to scale up the activities in the country. This is also associated with sustainability of WACIPAC project. The start-up project put the harmonization workshops as institutionalizing device for replicability by sharing development process. In this regards, WFP Niger express the possibility of integration of the self-assessment tools into the WFP programme for scale-up. UNICEF Niger intended to include the self-assessment tools into their "school health kit" which consists of various tools of UNICEF's school health programme. The responsible person for school health in Ministry of Education expressed the intention on the integration of the self assessment tools into existing education system.

2. Achievement of Start up project purpose

Project Purpose: Experiences gained from self assessment criteria development will be utilized to extend the school health activity implementation nationwide.

3. Achievement of output

(1) A national consensus between stakeholders on school health activities is build

This output was achieved through the consensus meeting held in February 2007 and July 2007. The following presentations were made to exchange the past experience of partners. The action plan – a development of self-assessment sheet was proposed.

(2) Collaboration between Niger stakeholders in school health activities is improved.

A meeting with regional authorities to validate the self assessment criteria was held to revise the self assessment criteria and other tools. Minimum requirement for school health was also discussed in harmonizing workshop. Area of intervention by respective partners was mapped out.

(3) Self Assessment Criteria forms are developed on the basis of the project.

Through the series of meeting, the following forms including self assessment sheet were developed.

- Start-up project on school health "example of activities" 4 page

- Start-up project on school health “Instruction manual on the uses self-assessment form and table”
- Start-up project on school health “Instruction manual on the use of assessment sheet”
- Table of programme of activities
- Assessment sheet of school health and hygiene

Field trail in Tillabéri was conducted from November, 2007 to February 8, 2008, and the results were presented to the concerned stakeholders at workshop in March 2008.

4. Observed findings and key opinions

- UNICEF support quality of hygiene and sanitation through training teachers within UNICEF’s school education programme. UNICEF applied training module prepared by JOCV in targeting 590 schools. UNICEF considers the self assessment sheet can be put in their training module kit.
- The result of field test on self-assessment sheet was presented with power point at workshop. (MOH, MOH, PTF (NGO)).
- The unit also conducted the monitoring trip on the self assessment sheet and flyer.

5. Analysis and recommendation

Area	Successful / Contributing factors	Unsuccessful / inhibiting factors	Recommendation	To whom
Performance (Effectiveness)	<ul style="list-style-type: none"> Commitment of authorities from national to local level School authority (school head master) was supportive to the activities Teachers group were supportive to the activities Parent management committee provided materials such as a jar, blooms etc. Instruction of materials are easy to understand (appropriate and simple) The subject had been taught as a part of school subject. Involvement of existing NGOs/Association such as World Vision, Plan Niger in terms of material support (soap, water etc.) Experience of WFP was applied to de-worming and school feeding Cooperation among various unit within MOH Harmonization was realized through the accumulated experiences and communication channel of JOCV. National programme de-worming of Bilharzias and Shistosomiasis bridge the activities Self-assessment sheet was inspired from JOCV activities 	<ul style="list-style-type: none"> Lack of facilities such as fence, latrine and water Distribution system is organized by private sector (MOE can not supervise the distribution process of self-assessment sheet) 	<ul style="list-style-type: none"> Integrated into the WFP programme to scale up Integrated into UNICEF school health kit Integrated into "Improved Stove programme" Integrated into existing education system More training of teachers 	WFP UNICEF JOCV MOE
Management/process	<ul style="list-style-type: none"> Accessible to Niamey A form induces the awareness on the importance of hygiene and related matters Least cost form Recognized as a common tool through a consensus building workshop Collaboration of JOCV 	<ul style="list-style-type: none"> Distribution problem from central to region Weakness of monitoring capacity (system, manpower, money) Difficulties in making copies of self-assessment sheet due to limitation of budget Limitation on integrating the activities into NTD programme Limitation of understanding of teachers on fulfillment of the sheet 		
Replicability (Scale up of Self-assessment sheet)				

5. メンバー国プログラムマネージャーへの直接インタビュー結果

The participants for the International training programme of WACIPAC had various expectations before the programme had commenced. First of all, most direct relevance of their expectations were to master the concept of integrated parasite control approach and building capacity on planning, implementing and monitoring of the integrated programme. Most of them responded that they were satisfied with the content of the WACIPAC's international training programme. Secondly, they expected to have a start-up project with the support of the WACIPAC in their country as they submitted their own proposal to the WACIPAC. In fact, proposed start-up projects were not realized except Benin and Niger. Thirdly, some country expected that the WACIPAC would strongly advocate the integrated approach through follow-up visit. But they perceived that the supports were not enough to motivate their authority.

It was understood that most member countries operate their own school health or parasite control programme with the support from different partners. The participants applied some extent their acquired knowledge and skill to elaborate policy development, revision of guideline, training of frontline officers and campaign on school health etc. In case of Cote d'Ivoire, they formulated policy, guideline and strategic plan of de-worming at the national level. In Togo, the follow-up visit of WACIPAC accelerated the formulation of inter-ministerial committee in collaboration between MoH, WHO, UNICEF and Plan Togo (NGOs).

The participants responded their future expectation of the WACIPAC. Firstly, they would like the WACIPAC to continue international training for not only new courses but also refresh courses. Secondly they expect to have a support such as start up activities for consolidating their experiences. They think they will be able to share best-practices and scientific data from the experiences. The country, Senegal, has a specific expectation for the role of the WACIPAC to accelerate the harmonization process among the partners. There was a suggestion on the current operation plan of the WACIPAC. Cameroon suggested that the organization which manages those activities of WACIPAC should be international and it is better to create an international advisory board which consists of people from each member countries to discuss future WACIPAC.

(1) Initial expectation and satisfaction for support from WACIPAC		
Expectations	Satisfaction	Countries
<ul style="list-style-type: none"> • To learn approach of WACIPAC in integrated manner including planning, implementation and monitoring. 	<ul style="list-style-type: none"> • Satisfied 	<ul style="list-style-type: none"> • Burkina Faso, Cote d'Ivoire, Togo, Senegal, Mali
<ul style="list-style-type: none"> • To build capacity not only for parasite control but also for health promotion through school health. (MoH) 	<ul style="list-style-type: none"> • Satisfied • Some extent 	<ul style="list-style-type: none"> • Burkina Faso, Cameroon, Senegal, Mali, Nigeria • Togo
<ul style="list-style-type: none"> • To implement start up project in respected country 	<ul style="list-style-type: none"> • Not met 	<ul style="list-style-type: none"> • Burkina Faso, Cameroon, Mali, Nigeria
<ul style="list-style-type: none"> • To have follow-up visits in the country from WACIPAC 	<ul style="list-style-type: none"> • Not met • Satisfied 	<ul style="list-style-type: none"> • Cote d'Ivoire, Mali • Togo
<ul style="list-style-type: none"> • To advocate the importance of the WACIPAC approach to the authority in respected country 	<ul style="list-style-type: none"> • Not enough 	<ul style="list-style-type: none"> • Senegal , Ghana
<ul style="list-style-type: none"> • To acquire direct support such as latrine construction etc. 	<ul style="list-style-type: none"> • Not met 	<ul style="list-style-type: none"> • Ghana

(2) Related activities conducted in own countries based on the support from WACIPAC		
Related activities	Supportive function	Countries
<ul style="list-style-type: none"> ▪ Sensitized related authorities through conducting exchange meetings and explaining approach which was acquired in the training course ▪ Feed backed to national parasite control or school health program based on the skills acquired. ▪ Partnership with MoH and related donors such as UNICEF and WHO was accelerated. ▪ Policy, guideline and strategic plan of de-worming were formulated at the national level. ▪ Inter-ministerial committee was formulated based on the follow-up visit of WACIPAC with collaboration between MoH, WHO, UNICEF and Plan 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ WACIPAC capacity building enabled to use the skill ▪ WACIPAC facilitate the harmonization process through follow-up visit 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Burkina Faso, Senegal ▪ Burkina Faso, Senegal, Mali, Nigeria ▪ Burkina Faso ▪ Cote d'Ivoire ▪ Togo
(3) Expectation for future WACIPAC		
Expected role in the future	Continuity of activities	Countries
<ul style="list-style-type: none"> ▪ To continue capacity building including refresher courses. ▪ To provide technical support such as start up project in respective country ▪ To share experiences of activities including best-practices and scientific data among various member countries. ▪ To remain purely a technical center ▪ Existing plan for future WACIPAC is not satisfactory for Cameroon because Cameroon is not a member of ECOWAS/ WAHO. ▪ Organization which manages those activities of WACIPAC should be international. It is better to creation an international advisory board which consists of people from each member countries to discuss future WACIPAC ▪ To continue communication with focal persons ▪ To support local trainings ▪ To support the government to create harmonization with partners on school based parasite control 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ School health programme 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Burkina Faso, Mali ▪ Burkina Faso, Cote d'Ivoire, Togo, Mali ▪ Burkina Faso, Cote d'Ivoire, Mali ▪ Ghana GHS ▪ Cameroon ▪ Cameroon ▪ Mali ▪ Mali ▪ Senegal

The Project Design Matrix

1. The project for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC)
2. Project period (January 2004~December 2008)

3. Implementing agency: Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR), University of Ghana
4. Project site:

Project Office: Noguchi Memorial Institute for Medical Research

Model Project site: Dangme-East District, Greater Accra Region

Supporting sites: Benin, Burkina Faso, Cameroon, Côte d'Ivoire, Ghana, Mali, Niger, Nigeria, Senegal and Togo

5. Target group: School-age children and other at-risk groups in the West African sub-region

ANNEX II

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVE VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>Super Goal: The burden of parasitic diseases is substantially reduced in the West African sub-region.</p> <p>Overall Goal: Parasitic diseases control programmes of Supporting sites in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC.</p>	<p>In about 10 years after the completion of the 5 years project, ratios of morbidity and mortality due to parasitic disease decrease to a certain degree in Supporting sites.</p> <p>In 3~5 years after the end of the 5 years project, 1. School-based Parasitic Control programmes are actively implemented in Supporting sites. 2. 80% of personnel involved in parasite control and school health programmes in Supporting sites successfully receive training at WACIPAC.</p>	<p>1. Inquiry survey and/or Interview</p> <p>2. Statistics of the Ministry of Health and Education in Supporting sites</p>	<p>1. Political stability is maintained in Supporting sites. 2. Partnership cooperation is firmly established in Supporting sites. 3. Political commitment to parasitic diseases control is enhanced in Supporting sites. 4. Economic growth is secured in Supporting sites.</p>
<p>Project Purpose: WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities in the West African sub-region.</p>	<p>By the end of project, 1. 60% of personnel involved in parasite control and school health programmes (managers and frontline officers) of Supporting sites successfully receive training. 2. Recognition level of WACIPAC in the sub-region as a training center of parasitic disease control is heightened. 3. Communication among personnel working on parasite control is stimulated by WACIPAC. 4. Participants submit proposals of start-up activities in their own countries.</p>	<p>1. Project records</p> <p>2. Interview and/or inquiry survey</p> <p>3. Evaluation sheets</p> <p>4. Proposals</p>	<p>1. Adequate budgetary support to parasitic disease control from each Government does not decrease in respective countries. 2. At least half of trained personnel actively participate in parasite control activities..</p>

<p>Outputs Output 1: WACIPAC is fully established.</p>	<p>1. Advisory Committee meetings are held annually. 2. Steering Committee meetings are held quarterly or bi-annually. 3. WACIPAC management meeting is held weekly.</p>	<p>1. Project documents</p>	
<p>Output 2: A model project site for school-based parasitic diseases control is fully established.</p>	<p>1-1. Task Force for the model project site functions fully. 1-2. No. of Task Force meetings held. 2-1. No. of PCA oversight committee meetings held. 3-1. The PCA functions practically. 3-2. No. of communities where PCA has been established. 4-1. No. of IEC materials for BCC developed and tested. 4-2. No. of radio/TV programmes developed. 5. School children and communities in the model project site acquire their knowledge of parasite control and take preventive actions. 6-1. No. of pupils covered by the baseline surveys. 6-2. No. of school-age children regularly dewormed. 6-3. Baseline survey reports are compiled and distributed to all stakeholders. 7-1. Human capacity in the model project site is strengthened. 7-2. No. of technicians and health/education personnel trained.</p>	<p>1. Project records 2. PCA activity records 3. PCA activity records 4. Project records 5. Project records 6. Project records 7. Model Project District Assembly reports</p>	<p>Fund for intervention is secured from some funding resources other than from JICA</p>

	<p>8-1. Physical capacity in the model project site is strengthened.</p> <p>8-2. No. of water/sanitation facilities provided.</p> <p>9. School-based parasitic diseases control activities are expanded into the community.</p> <p>10. No. of meetings with NGOs and other development partners held.</p>	<p>8. Project records</p> <p>9. Project records</p> <p>10. Project records</p>	
--	---	--	--

<p>Output 3: Human Resources for school-based parasitic diseases control in the West African sub-region are trained by WACIPAC.</p>	<p>1. The approach advocated by WACIPAC focusing on human resource development is adopted for parasite control in Supporting sites in the sub-region.</p> <p>2-1. At least 180 personnel are trained by WACIPAC.</p> <p>2-2. The number of international training courses/ workshops/ seminars organized and/or supported by WACIPAC and the cumulative number of participants.</p> <p>2-3. The number of the in-country trainings supported and/or promoted by WACIPAC and the cumulative number of the participants.</p> <p>3. The participants of international training courses acquire experiences and confidence in practicing parasite control in the fields.</p> <p>4. The personnel/agencies acquire management skills for planning and implementation of the school-based parasitic diseases control activities in Supporting sites.</p>	<p>1-1. Review on government's policies of Supporting sites for parasite control</p> <p>1-2. Interview and inquiry survey with health and education policy makers</p> <p>2. Project reports</p> <p>3-1. Evaluation reports of the international training courses</p> <p>3-2. Interview and inquiry survey with participants with regards to level of comprehension</p> <p>4. Interview and inquiry survey with participants with regards to management skill</p>	
<p>Output 4 WACIPAC functions as a hub for information network within the West African sub-region and among three GPCI International Centres (CIPACs).</p>	<p>1. The network system established in WACIPAC results in the increase of exchange of information and other interactions among the following group of people and organizations; the participants of international training courses; Ghanaian and Japanese experts; among GPCI Centers; related international organizations.</p>	<p>1-1. Interview and Inquiry survey with the participants, Ghanaian and Japanese experts, GPCI Centers, and others</p> <p>1-2. Report of IT unit of NMIMR</p> <p>1-3. Reports from users (i.e. member country's experts, the number of access to the Homepage, quality/quantity of information on the web and database)</p>	

<p>Output 5: The advocacy of school-based parasitic diseases control is promoted within the sub-region and among three CIPACs.</p>	<p>1-1. The number of seminars/workshops for policymakers organized by WACIPAC and the cumulative number of the participants. 1-2. The number of donor coordination workshops advocated and promoted by WACIPAC and the cumulative number of participants. 2. The number of country visits and reports. 3. Exchange of data, documents, experience is promoted. 4. Newsletters are periodically issued by WACIPAC. 5. The number of visits to the WACIPAC home page is increased.</p>	<p>1. Project reports 2. Project records 3. Project reports 4. Newsletters 5. The number of visits to WACIPAC home page</p>	
<p>Output 6: Start-up activities on school-based parasitic diseases control are implemented in the Supporting sites.</p>	<p>1. The fund for start-up activities in Supporting sites is secured. 2. Level of technique and skill of management, health policy, operational research, etc, are heightened in the sub region. 3. School children and communities in the sub-region acquire their experiences of parasite control and take preventive actions.</p>	<p>1. WACIPAC financial report 2. The report of start up activities 3. The report of start up activities</p>	<p>The fund for start-up activities in Supporting sites is secured from some funding resources other than JICA</p>
<p>Activities</p>		<p>Inputs</p>	
<p>(Output 1) 1.1. WACIPAC is officially established. 1.2. Strengthen the management structure of WACIPAC. 1.2.1. Establish the proper management structure of WACIPAC at Ghana level. (The joint coordinating committee and management committee of WACIPAC) 1.2.2. Establish the proper management structure of WACIPAC at International level. 1.3. Develop human resources for WACIPAC.</p>	<p>(A) Inputs from the Ghanaian Side (Project personnel including counterpart personnel) 1. Project Director: Director of Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR) 2. Project manager: Head of Parasitology Unit, NMIMR 3. Officers, Personnel at Ministry of Health and Ministry of Education, Youth and Sports 4. Experts: Parasitology, Information, Education and Communication (IEC), Laboratory Technicians</p>		

<p>1.3.1. Recruit necessary staff of WACIPAC. 1.3.2. Train human resources of WACIPAC. 1.3.3. Dispatch key WACIPAC human resources to various international trainings. 1.3.4. Dispatch key WACIPAC human resources to the counterpart trainings in Japan and/or in a Third Country. 1.3.5. Provide support to postgraduate students under the JICA Research Resident scheme in the field of school-based parasitic diseases control.</p> <p>(Output 2) 2. 1.Establish the management mechanism for the model project site for WACIPAC. 2.1.1. Establish a Task Force for the model project site. 2.1.2. Organize regular discussion meetings of the Task Force for planning, implementing, monitoring and evaluating the activities in the model project site. 2.1.3. Promote collaboration with the Ministry of Health and the Ministry of Education, Youth and Sports. 2.1.4. Get approval from District Assembly. 2.1.5. Build consensus with district Health and Education offices. 2.1.6. Strengthen the linkage with regional/district School Health Education Programme (SHEP) Coordinators. 2.1.7. Establish the autonomous management structure for operating activities at the model project site (Parasite Control Association: PCA / oversight committees) at three levels;(1) national level, (2) district level and (3) community level 2.1.8. Implement PCA activities. 2.2. Develop health education materials for parasitic diseases control. 2.2.1. Develop posters, games, flip charts for parasitic diseases control. 2.2.2. Develop radio spots, T.V spots, and audio visual IEC materials for parasitic diseases control. 2.2.3. Develop songs, dramas etc for parasitic diseases control. 2.2.4. Test and modify the above-mentioned IEC materials at the selected schools in the model project site. 2.2.5. Utilize the developed IEC materials.</p>	<p>5. Other Counterparts and Administrative personnel. Technical Experts of Global Parasite Control in the model project site - Information net work –IEC , Administration (Land and Facility) 1. Project Coordination Office in the compound of NMIMR 2. Project field laboratory facility in the model project site 3. Training facilities in the compound of NMIMR (Project operation budget) 1. Salaries and related allowances for Ghanaian staff & Personnel 2. Expenses of electricity, water, gas, and other fuel 3. Regular expenses incurred by the machineries, equipment, and other supplies provided by JICA including custom clearance costs, storage costs, inland transportation costs, installation costs and other supplies. 4. Any costs for maintaining facilities and machineries, equipment and other supplies</p> <p>(B) Input from the Japanese side (Long term experts) 1. Chief Advisor 2. Project Coordinator 3. Expert in the technical field of: a. Public Health (or Primary Health Care) b. Global Parasite Control c. School Health Education d. Others, when necessary</p> <p>Note: Chief Advisor and Project Coordinator may serve concurrently as experts in one or two of above-mentioned technical fields.</p> <p>(Short term experts) 1. Public Health (Parasitology) 2. IEC (Flip charts, games, posters) 3. IEC (Audio Visual) 4. System Engineer (web site and data base) 5. PCM facilitator for training WACIPAC staff to be PCM facilitators</p>	
---	--	--

<p>2.3. Conduct baseline (KAP and parasitological) surveys.</p> <p>2.3.1. Map out existing health, education and sanitary facilities in the model project site.</p> <p>2.3.2. Select the target schools for baseline survey.</p> <p>2.3.3. Organize the training workshops for teachers, health volunteers, parents and key persons in the communities.</p> <p>2.3.4. Conduct the baseline survey based on the operational study planning.</p> <p>2.3.5. Analyze and evaluate the baseline survey data</p> <p>2.3.6. Make the baseline report.</p> <p>2.3.7. Organize report meetings for pupils, teachers, parents and other key persons.</p> <p>2.4. Implement 'control activities'.</p> <p>2.4.1. Conduct periodic deworming activities at the target schools and communities.</p> <p>2.4.2. Conduct periodic health education activities at the target schools and communities.</p> <p>2.4.3. Implement the 'control activities' at the selected schools (providing water supply, toilet facilities, waste disposal facilities etc.) in collaboration with other development partners.</p> <p>2.4.4. Monitor and evaluate control activities.</p> <p>2.4.5. Conduct 'Operational Research'.</p> <p>2.4.6. Publish and disseminate the results.</p> <p>2.5. Build human capacity in the model project site.</p> <p>2.5.1. Recruit personnel for model project site activities.</p> <p>2.5.2. Train local human resources such as laboratory technicians, health volunteers, etc. for the purpose of enhancing sustainability of the activities.</p> <p>2.5.3. Organize periodical SHEP Coordinators and teachers training for promoting WACIPAC health education interventions.</p> <p>2.6. Build physical facilities in the model project site.</p> <p>2.6.1. Inspect the existing facilities, equipment and means of transportation in the model project site</p> <p>2.6.2. Improve the existing facilities, equipment and means of transportation.</p>	<p>6. Others will be dispatched upon demand (Counterpart training)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JEC (Audio Visual) materials production 2. Information Technology 3. Public Health and Community Health 4. PCM facilitation 5. Training opportunities in Japan and/or in a Third Country for counterparts will be provided <p>(Machinery, Equipment and Materials)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Equipment for parasitological survey and examination 2. Equipment for public health activities 3. Equipment for training on Global Parasite Control activities 4. Vehicles 5. Administration building 6. Other necessary equipment for the implementation of the project 	
--	---	--

<p>2.6.3. Conduct the need assessment for the materials/equipment and physical facilities for WACIPAC activities in the model project site.</p> <p>2.6.4. Acquire materials/equipment if necessary.</p> <p>2.6.5. Construct physical facilities (laboratory, training facility, sleeping quarters, and library if necessary)</p> <p>2.7. Propagate GPCI activities through PCA into community.</p> <p>2.7.1. Propagate the GPCI activities into communities in close collaboration with the Planned Parenthood Association of Ghana (PPAG)</p> <p>2.7.2. Implement the above-mentioned plan.</p> <p>2.7.3. Evaluate the activities.</p> <p>2.7.4. Make the report of the implementation.</p> <p>2.8. Secure funding for some part of the control activities in the model project site.</p> <p>2.8.1. Organize meetings for enhancing partnership cooperation in the model project site.</p> <p>2.8.2. Strengthen the collaboration with other development partners in provision of water supply and sanitary facilities in the model project site.</p> <p>2.9. Develop the guideline (minimum package) for implementing school-based parasitic diseases control activities in the Supporting sites.</p> <p>2.9.1. Compile the activities from 2.1 to 2.8 into a package.</p> <p>2.9.2. Compile IEC materials developed into a package.</p> <p>2.9.3 Create the guideline (minimum package) for implementing GPCI activities in the Supporting sites</p> <p>(Output 3)</p> <p>3.1. Conduct international workshops/seminars for health and education policy makers from the Supporting sites and development partners (two days, every two years).</p> <p>3.1.1. Identify health and education policy makers in the Supporting sites.</p> <p>3.1.2. Prepare general information for the workshops/seminars.</p> <p>3.1.3. Conduct advocacy workshops/seminars.</p> <p>3.1.4. Make the workshop/seminar report.</p> <p>3.1.5. Distribute the report to those concerned in the Supporting sites.</p>		
---	--	--

	<p>3.1.6. Visit Supporting sites as follow-up activities.</p> <p>3.2. Conduct international training courses/workshops for health and education programme managers and NGO programme officers (4~6 weeks once a year).</p> <p>3.2.1. Identify health and education programme managers in the Supporting sites.</p> <p>3.2.2. Prepare general information for the workshops/seminars.</p> <p>3.2.3. Conduct the training courses/workshops.</p> <p>3.2.4. Make the training/workshop report.</p> <p>3.2.5. Distribute the report to those concerned in the Supporting sites.</p> <p>3.2.6. Visit Supporting sites as follow-up activities.</p> <p>3.3. Conduct international training courses/workshops for health and education frontline officers including NGO frontline officers.</p> <p>3.3.1. Identify health and education frontline officers in the Supporting sites.</p> <p>3.3.2. Prepare general information for the training courses/workshops.</p> <p>3.3.3. Conduct training courses/workshops.</p> <p>3.3.4. Make the training report.</p> <p>3.3.5. Distribute the report to those concerned in the Supporting sites.</p> <p>3.3.6. Visit Supporting sites as follow-up activities.</p> <p>3.4. Conduct in-country training courses/workshops for frontline officers from both Health and Education sectors and development partners in the targeted Supporting sites.</p> <p>3.4.1. Conduct need assessment for the in-country training in the Supporting sites using the participatory approach.</p> <p>3.4.2. Discuss the detailed content of the in-country trainings with the related government in the Supporting sites.</p> <p>3.4.3. Sign the minutes of understanding between JICA/WACIPAC and the related government.</p> <p>3.4.4. Conduct the in-country training courses/workshops.</p> <p>3.4.5. Make the training report.</p> <p>3.4.6. Distribute the training report to those concerned.</p> <p>3.5. Strengthen collaboration with international organizations in conducting training courses/workshops in the field of parasitic</p>
--	---

		<p>diseases control in:</p> <ul style="list-style-type: none"> 3.5.1. identifying suitable participants for WACIPAC training courses/workshops. 3.5.2. developing curriculum and IEC materials. 3.5.3. identifying appropriate facilitators for the training courses/workshops. 3.5.4. providing technical support to closely related training courses/workshops organized by other international organizations. <p>(Output 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4.1. Establish a committee for planning, implementing and monitoring the information network activities. 4.2. Organize regular meetings (at least once a month). 4.3. Prepare infrastructure for networking at WACIPAC. 4.4. Initiate and maintain activities for an internet-based network including website and discussion group. 4.5. Establish database on parasitic diseases in the West African sub-region. 4.6. Develop CD-ROM based bibliography of literatures on parasitic diseases. 4.7. Exchange information and data among countries, three CIPACs and international organizations. <p>(Output 5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5.1 Visit the Supporting sites as a part of follow-up activities of international training courses/workshops. 5.2. Promote the partnership collaboration. 5.3. Create the opportunities to enhance advocacy among all stakeholders. 5.4. Distribute newsletters and reports to Supporting sites and other stakeholders. <p>(Output 6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6.1. Provide technical assistance to the Supporting sites to implement start-up activities. 6.2. Provide technical assistance to the Supporting sites to develop school health education materials. 6.3. Encourage partnership collaboration in the Supporting sites.
--	--	---

ANNEX II

The Project Design Matrix

1. The project for the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC)
2. Project period (January 2004~December 2008)
3. Implementing agency: Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR), University of Ghana
4. Project site:

Project Office: Noguchi Memorial Institute for Medical Research

Model Project site: Dangme-East District, Greater Accra Region

Supporting sites: Benin, Burkina Faso, Cameroon, Côte d'Ivoire, Ghana, Mali, Niger, Nigeria, Senegal and Togo

5. Target group: Policy makers, programme managers, frontline officers from health and education sector and NGOs

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVE VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>Super Goal: The burden of parasitic diseases is substantially reduced in the West African sub-region.</p> <p>Overall Goal: Parasitic diseases control programmes of Supporting sites in the West African sub-region are implemented by the capacity built by/at WACIPAC.</p>	<p>In about 10 years after the completion of the 5 years project, ratios of morbidity and mortality due to parasitic disease decrease to a certain degree in Supporting sites.</p> <p>In 3~5 years after the end of the 5 years project,</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. School-based Parasitic Control programmes are actively implemented in Supporting sites. 2. 80% of personnel involved in parasite control and school health programmes in Supporting sites successfully receive training at WACIPAC. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Inquiry survey and/or Interview 2. Statistics of the Ministry of Health and Education in Supporting sites 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Political stability is maintained in Supporting sites. 2. Partnership cooperation is firmly established in Supporting sites. 3. Political commitment to parasitic diseases control is enhanced in Supporting sites. 4. Economic growth is secured in Supporting sites.
<p>Project Purpose: WACIPAC performs the role of building capacity for integrated parasite control activities in the West African sub-region.</p>	<p>By the end of project,</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 60% of personnel involved in parasite control and school health programmes (managers and frontline officers) of Supporting sites successfully receive training. 2. Recognition level of WACIPAC in the sub-region as a training center of parasitic disease control is heightened. 3. Communication among personnel working on parasite control is stimulated by WACIPAC. 4. Participants submit proposals of start-up activities in their own countries. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Project records 2. Interview and/or inquiry survey 3. Evaluation sheets 4. Proposals 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Adequate budgetary support to parasitic disease control from each Government does not decrease in respective countries. 2. At least half of trained personnel actively participate in parasite control activities..

<p>Outputs Output 1: WACIPAC is fully established.</p>	<p>1. Advisory Committee meetings are held annually. 2. Steering Committee meetings are held quarterly or bi-annually. 3. WACIPAC management meeting is held weekly.</p>	<p>1. Project documents</p>	<p>Fund for intervention is secured from some funding resources other than from JICA</p>
<p>Output 2: A model project site for school-based parasitic diseases control is fully established.</p>	<p>1-1. Task Force for the model project site functions fully. 1-2. No. of Task Force meetings held. 2-1. No. of PCA oversight committee meetings held. 3-1. The PCA functions practically. 3-2. No. of communities where PCA has been established. 4-1. No. of IEC materials for BCC developed and tested. 4-2. No. of radio/TV programmes developed. 5. School children and communities in the model project site acquire their knowledge of parasite control and take preventive actions. 6-1. No. of pupils covered by the baseline surveys. 6-2. No. of school-age children regularly dewormed. 6-3. Baseline survey reports are compiled and distributed to all stakeholders. 7-1. Human capacity in the model project site is strengthened. 7-2. No. of technicians and health/education personnel trained. 8-1. Physical capacity in the model project site is strengthened. 8-2. No. of water/sanitation facilities provided. 9. School-based parasitic diseases control activities are expanded into the community. 10. No. of meetings with NGOs and other development partners held.</p>	<p>1. Project records 2. PCA activity records 3. PCA activity records 4. Project records 5. Project records 6. Project records 7. Model Project District Assembly reports 8. Project records 9. Project records 10. Project records</p>	

<p>Output 3: Human Resources for school-based parasitic diseases control in the West African sub-region are trained by WACIPAC.</p>	<p>1 The approach advocated by WACIPAC focusing on human resource development is adopted for parasite control in supporting sites in the sub-region.</p> <p>1.1 At least 180 personnel are trained by WACIPAC.</p> <p>1.2 The number of international training courses/ workshops/ seminars organized and/or supported by WACIPAC and the cumulative number of participated and/or promoted by WACIPAC and the cumulative number of the participants.</p> <p>1.3 The number of the in-country trainings supported and/or promoted by WACIPAC and the cumulative number of the participants.</p> <p>2 The participants of international training courses acquire experiences and confidence in practicing parasite control in the fields.</p> <p>3 The personnel/agencies acquire management skills for planning and implementation of the school-based parasitic diseases control activities in supporting sites.</p>	<p>1-1. Review on government's policies of Supporting sites for parasite control</p> <p>1-2. Interview and inquiry survey with health and education policy makers</p> <p>2. Project reports</p> <p>3-1. Evaluation reports of the international training courses</p> <p>3-2. Interview and inquiry survey with participants with regards to level of comprehension</p> <p>4. Interview and inquiry survey with participants with regards to management skill</p>	
<p>Output 4 WACIPAC functions as a hub for information network within the West African sub-region and among three GPCI International Centres (CIPACs).</p>	<p>1. The network system established in WACIPAC results in the increase of exchange of information and other interactions among the following group of people and organizations; the participants of international training courses; Ghanaian and Japanese experts; among GPCI Centers; related international organizations.</p>	<p>1-1. Interview and Inquiry survey with the participants, Ghanaian and Japanese experts, GPCI Centers, and others</p> <p>1-2. Report of IT unit of NMIMR</p> <p>1-3. Reports from users (i.e. member country's experts, the number of access to the Homepage, quality/quantity of information on the web and database)</p>	
<p>Output 5: The advocacy of school-based parasitic diseases control is promoted within the sub-region and among three CIPACs.</p>	<p>1-1. The number of seminars/workshops for policymakers organized by WACIPAC and the cumulative number of the participants.</p> <p>1-2. The number of donor coordination workshops advocated and promoted by WACIPAC and the cumulative number of participants.</p> <p>1. The number of country visits and reports.</p> <p>2. Exchange of data, documents, experience is promoted.</p> <p>3. Newsletters are periodically issued by WACIPAC.</p> <p>4. The number of visits to the WACIPAC home page is increased.</p>	<p>1. Project reports</p> <p>2. Project records</p> <p>3. Project reports</p> <p>4. Newsletters</p> <p>5. The number of visits to WACIPAC home page</p>	

<p>Output 6: Start-up activities on school-based parasitic diseases control are implemented in the Supporting sites.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. The fund for start-up activities in Supporting sites is secured. 2. Level of technique and skill of management, health policy, operational research, etc. are heightened in the sub region. 3. School children and communities in the sub-region acquire their experiences of parasite control and take preventive actions. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. WACIPAC financial report 2. The report of start up activities 3. The report of start up activities 	<p>The fund for start-up activities in Supporting sites is secured from some funding resources other than JICA</p>
---	--	---	--

Inputs	Activities
<p>(A) Inputs from the Ghanaian Side (Project personnel including counterpart personnel)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Project Director: Director of Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR) 2. Project manager: Head of Parasitology Unit, NMIMR 3. Officers, Personnel at Ministry of Health and Ministry of Education, Youth and Sports 4. Experts: Parasitology, Information, Education and Communication (IEC), Laboratory Technicians 5. Other Counterparts and Administrative personnel. Technical Experts of Global Parasite Control in the model project site - Information net work –IEC , Administration (Land and Facility) <p>(B) Input from the Japanese side</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Project Coordination Office in the compound of NMIMR 2. Project field laboratory facility in the model project site 3. Training facilities in the compound of NMIMR <p>(Project operation budget)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Salaries and related allowances for Ghanaian staff & Personnel 2. Expenses of electricity, water, gas, and other fuel 3. Regular expenses incurred by the machineries, equipment, and other supplies provided by JICA including custom clearance costs, storage costs, inland transportation costs, installation costs and other supplies. 4. Any costs for maintaining facilities and machineries, equipment and other supplies 	<p>(Output 1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1. WACIPAC is officially established. 1.2. Strengthen the management structure of WACIPAC. <ol style="list-style-type: none"> 1.2.1. Establish the proper management structure of WACIPAC at Ghana level. (The joint coordinating committee and management committee of WACIPAC) 1.2.2. Establish the proper management structure of WACIPAC at International level. 1.3. Develop human resources for WACIPAC. <ol style="list-style-type: none"> 1.3.1. Recruit necessary staff of WACIPAC. 1.3.2. Train human resources of WACIPAC. 1.3.3. Dispatch key WACIPAC human resources to various international trainings. 1.3.4. Dispatch key WACIPAC human resources to the counterpart trainings in Japan and/or in a Third Country. 1.3.5. Provide support to postgraduate students under the JICA Research Resident scheme in the field of school-based parasitic diseases control. <p>(Output 2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 1. Establish the management mechanism for the model project site for WACIPAC. <ol style="list-style-type: none"> 2.1.1. Establish a Task Force for the model project site. 2.1.2. Organize regular discussion meetings of the Task Force for planning, implementing, monitoring and evaluating the activities in the model project site. 2.1.3. Promote collaboration with the Ministry of Health and the Ministry of Education, Youth and Sports. 2.1.4. Get approval from District Assembly. 2.1.5. Build consensus with district Health and Education offices. 2.1.6. Strengthen the linkage with regional/district School Health Education Programme (SHEP) Coordinators. 2.1.7. Establish the autonomous management structure for operating activities at the model project site (Parasite Control Association: PCA / oversight committees) at three levels; (1) national level, (2) district level and (3) community level 2.1.8. Implement PCA activities. 2.2. Develop health education materials for parasitic diseases control. <ol style="list-style-type: none"> 2.2.1. Develop posters, games, flip charts for parasitic diseases control. 2.2.2. Develop radio spots, T. V spots, and audio visual IEC materials for parasitic diseases control. 2.2.3. Develop songs, dramas etc for parasitic diseases control. 2.2.4. Test and modify the above-mentioned IEC materials at the selected schools in the model project site. 2.2.5. Utilize the developed IEC materials. 2.3. Conduct baseline (KAP and parasitological) surveys. <ol style="list-style-type: none"> 2.3.1. Map out existing health, education and sanitary facilities in the model project site. 2.3.2. Select the target schools for baseline survey. 2.3.3. Organize the training workshops for teachers, health volunteers, parents and key persons in the communities. 2.3.4. Conduct the baseline survey based on the operational study planning. 2.3.5. Analyze and evaluate the baseline survey data 2.3.6. Make the baseline report. 2.3.7. Organize report meetings for pupils, teachers, parents and other key persons.

<p>(Long term experts)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chief Advisor 2. Project Coordinator 3. Expert in the technical field of: <ol style="list-style-type: none"> a. Public Health (or Primary Health Care) b. Global Parasite Control c. School Health Education d. Others, when necessary <p>Note: Chief Advisor and Project Coordinator may serve concurrently as experts in one or two of above-mentioned technical fields.</p> <p>(Short term experts)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Public Health (Parasitology) 2. IEC (Flip charts, games, posters) 3. IEC (Audio Visual) 4. System Engineer (web site and data base) 5. PCM facilitator for training WACIPAC staff to be PCM facilitators 6. Others will be dispatched upon demand <p>(Counterpart training)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IEC (Audio Visual) materials production 2. Information Technology 3. Public Health and Community Health 4. PCM facilitation 5. Training opportunities in Japan and/or in a Third Country for counterparts will be provided <p>(Machinery, Equipment and Materials)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Equipment for parasitological survey and examination 2. Equipment for public health activities 3. Equipment for training on Global Parasite Control activities 4. Vehicles 5. Administration building 6. Other necessary equipment for the implementation of the project 	<p>2.4. Implement 'control activities'.</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.4.1. Conduct periodic deworming activities at the target schools and communities. 2.4.2. Conduct periodic health education activities at the target schools and communities. 2.4.3. Implement the 'control activities' at the selected schools (providing water supply, toilet facilities, waste disposal facilities etc.) in collaboration with other development partners. 2.4.4. Monitor and evaluate control activities. 2.4.5. Conduct 'Operational Research' to improve the efficacy of project implementation. 2.4.6. Publish and disseminate the results. <p>2.5. Build human capacity in the model project site.</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.5.1. Recruit personnel for model project site activities. 2.5.2. Train local human resources such as laboratory technicians, health volunteers, etc. for the purpose of enhancing sustainability of the activities. 2.5.3. Organize periodical SHEP Coordinators and teachers training for promoting WACIPAC health education interventions. <p>2.6. Build physical facilities in the model project site.</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.6.1. Inspect the existing facilities, equipment and means of transportation in the model project site 2.6.2. Improve the existing facilities, equipment and means of transportation. 2.6.3. Conduct the need assessment for the materials/equipment and physical facilities for WACIPAC activities in the model project site. 2.6.4. Acquire materials/ equipment if necessary. 2.6.5. Construct physical facilities (laboratory, training facility, sleeping quarters, and library if necessary) <p>2.7. Propagate GPCI activities through PCA into community.</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.7.1. Propagate the GPCI activities into communities in close collaboration with the Planned Parenthood Association of Ghana (PPAG) 2.7.2. Implement the above-mentioned plan. 2.7.3. Evaluate the activities. 2.7.4. Make the report of the implementation. <p>2.8. Secure funding for some part of the control activities in the model project site.</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.8.1. Organize meetings for enhancing partnership cooperation in the model project site. 2.8.2. Strengthen the collaboration with other development partners in provision of water supply and sanitary facilities in the model project site. <p>2.9. Develop the guideline (minimum package) for implementing school-based parasitic diseases control activities in the Supporting sites.</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.9.1. Compile the activities from 2.1 to 2.8 into a package. 2.9.2. Compile IEC materials developed into a package. 2.9.3. Create the guideline (minimum package) for implementing GPCI activities in the Supporting sites
--	---

(Output 3)

- 3.1. Conduct international workshops/seminars for health and education policy makers from the Supporting sites and development partners (two days, every two years).
 - 3.1.1. Identify health and education policy makers in the Supporting sites.
 - 3.1.2. Prepare general information for the workshops/seminars.
 - 3.1.3. Conduct advocacy workshops/seminars.
 - 3.1.4. Make the workshop/seminar report.
 - 3.1.5. Distribute the report to those concerned in the Supporting sites.
 - 3.1.6. Visit Supporting sites as follow-up activities.
- 3.2. Conduct international training courses/workshops for health and education programme managers and NGO programme officers (4~6 weeks once a year).
 - 3.2.1. Identify health and education programme managers in the Supporting sites.
 - 3.2.2. Prepare general information for the workshops/seminars.
 - 3.2.3. Conduct the training courses/workshops.
 - 3.2.4. Make the training/workshop report.
 - 3.2.5. Distribute the report to those concerned in the Supporting sites.
 - 3.2.6. Visit Supporting sites as follow-up activities.
- 3.3. Conduct international training courses/workshops for health and education frontline officers including NGO frontline officers.
 - 3.3.1. Identify health and education frontline officers in the Supporting sites.
 - 3.3.2. Prepare general information for the training courses/workshops.
 - 3.3.3. Conduct training courses/workshops.
 - 3.3.4. Make the training report.
 - 3.3.5. Distribute the report to those concerned in the Supporting sites.
 - 3.3.6. Visit Supporting sites as follow-up activities.
- 3.4. Conduct in-country training courses/workshops for frontline officers from both Health and Education sectors and development partners in the targeted Supporting sites.
 - 3.4.1. Conduct need assessment for the in-country training in the Supporting sites using the participatory approach.
 - 3.4.2. Discuss the detailed content of the in-country trainings with the related government in the Supporting sites.
 - 3.4.3. Sign the minutes of understanding between JICA/WACIPAC and the related government.
 - 3.4.4. Conduct the in-country training courses/workshops.
 - 3.4.5. Make the training report.
 - 3.4.6. Distribute the training report to those concerned.
- 3.5. Strengthen collaboration with international organizations in conducting training courses/workshops in the field of parasitic diseases control in:
 - 3.5.1. identifying suitable participants for WACIPAC training courses/workshops.
 - 3.5.2. developing curriculum and IEC materials.
 - 3.5.3. identifying appropriate facilitators for the training courses/workshops.
 - 3.5.4. providing technical support to closely related training courses/workshops organized by other international organizations.

	<p>(Output 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4.1. Establish a committee for planning, implementing and monitoring the information network activities. 4.2. Organize regular meetings (at least once a month). 4.3. Prepare infrastructure for networking at WACIPAC. 4.4. Initiate and maintain activities for an internet-based network including website and discussion group. 4.5. Establish database on parasitic diseases in the West African sub-region. 4.6. Develop CD-ROM based bibliography of literatures on parasitic diseases. 4.7. Exchange information and data among countries, three CIPACs and international organizations. <p>(Output 5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5.1 Visit the Supporting sites as a part of follow-up activities of international training courses/workshops. 5.2. Promote the partnership collaboration. 5.3. Create the opportunities to enhance advocacy among all stakeholders. 5.4. Distribute newsletters and reports to Supporting sites and other stakeholders. <p>(Output 6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6.1. Provide technical assistance to the Supporting sites to implement start-up activities. 6.2. Provide technical assistance to the Supporting sites to develop school health education materials. 6.3. Encourage partnership collaboration in the Supporting sites.
--	--

8. 国際寄生虫対策西アフリカセンター（WACIPAC）自立発展計画（案）

PROPOSED WACIPAC SUSTAINABILITY PLAN

**ESTABLISHMENT OF A REGIONAL CENTRE FOR PARASITE CONTROL IN
WEST AFRICA THROUGH INCORPORATION OF WACIPAC
INTO WAHO**

1. Purpose

ESTABLISHMENT OF A REGIONAL CENTRE FOR PARASITE CONTROL IN WEST AFRICA: INCORPORATION OF WACIPAC INTO WAHO

2. Background

At the 1998 G8 Summit held in Birmingham, UK, the world leaders approved the plan for Global Parasite Control Initiative (GPCI). Out of this effort, and initially with Japanese funding three Centres for International Parasite Control (CIPACS) were established globally to spearhead parasite control in Asia and Africa. The three CIPACS are; the West African Centre for International Parasite Control (WACIPAC), the Asia Centre for International Parasite Control (ACIPAC), and the East and South Africa Centre for International Parasite Control (ESACIPAC).

WACIPAC was established at the Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR), College of Health Sciences, University of Ghana, on 1st January 2004 with a five year commitment for Japanese support which ends on 31st December 2008. In view of funding constraints, the strategy was adopted to start WACIPAC with an initial ten (10) countries and to bring the remaining West African countries on board through the development of appropriate sustainability measures. The ten starting WACIPAC member countries include; Benin, Burkina Faso, Cote d'Ivoire, Ghana, Niger, Nigeria, Mali, Senegal and Togo from West Africa, and Cameroon from central Africa. *Even though Cameroon is not a West African country, it was added to the WACIPAC member countries in the beginning as part of a strategy to reach out to the central African region.*

2.1 Key actives undertaken by WACIPAC

As a regional centre for international parasite control, WACIPAC has undertaken a number of activities in furtherance of parasitic diseases control in the West African sub-region. Among these activities are:

1. Consensus building for regional parasite control through international policy maker workshop of Ministers of Health and Education from member countries.
2. Human resource capacity building through regular annual International Training Workshops for Health and Education Programme Managers from member countries, as well as in-country training for middle level personnel from the Health and Education Sectors.

3. Promotion of strong collaboration between the Ministries of Health and Education of member countries and development of implementation mechanisms through the formation of inter-ministerial committees for school health, deworming and health promotion in general.
4. Strengthening of health promoting school system in member countries and development of strong community support.
5. Introduction of a model concept for implementing parasitic diseases control that enhances the efficiency, effectiveness and sustainability of school-based parasite control activities in member countries.

WACIPAC has also established a model site in Ghana where operational research is conducted and new intervention strategies developed to enhance parasitic diseases control in the sub-region. The WACIPAC *model site* in Ada-Foah, Dangme East District, Ghana, has been used for demonstration and teaching of best practices in the Health Promoting School Concept, and School-based Approach to Parasite Control during international training for Health and Education Programme Managers. The centre has also developed a website in *English* and *French* to facilitate networking and consensus for parasite control in the West African-sub-region.

A total of **77** programme managers and **757** frontline workers have been trained to strengthen policy and implementation in relation to parasite control and school health in the member countries. Also, **22** policy makers, mainly Ministers of Health and Education or their representatives were involved in consensus building workshop in 2004. Some key progress made during WACIPAC operations for the first five years (2004-2008) include:

1. Launching of national deworming programme for parasitic diseases control and promotion of school-health in some countries including Benin and Ghana.
2. Development of national school health policy and implementation strategies in some countries including Nigeria, Benin, Niger and Ghana.
3. Formation of inter-ministerial committees for school health and deworming in some countries including Burkina Faso, Benin, Togo, Ghana and Nigeria.
4. Development of IECs for health education and behaviour change which is adopted for use in all the member countries.
5. Commencement of start-up projects for enhancing the efficiency, effectiveness and sustainability of school health and parasitic diseases control in the sub-region.

From the progress made so far, the WACIPAC project is found to present tremendous potential for strengthening parasite control in the West African sub-region by providing an integrated framework for sustainable; i). Research, ii). Action, iii). Capacity building, and iv) Networking.

In order to promote sustainability of WACIPAC, consultations are being held with a cross-section of stakeholders including representatives from WACIPAC member countries. The preferred strategy for long term sustainability of WACIPAC is to incorporate the centre into the West African Health Organization (WAHO), within the Economic Community of West African States (ECOWAS). It is hoped that this incorporation of WACIPAC into WAHO will be achieved through close collaboration with the World Health Organization (WHO) especially, WHO AFRO.

2.2 Research support

With respect to research, the incorporation of WACIPAC into WAHO will provide a framework that promotes the involvement of key research institutions, universities and polytechnics in member countries to provide research support for parasite control programmes. By drawing on the findings of operational, implementation and basic research, the efficiency and effectiveness of intervention activities will be greatly enhanced.

2.3 Action through country implementation

The WACIPAC in WAHO framework will utilize the school-based approach to parasitic diseases control to enhance the impact of country control programmes. Strategies developed by the WHO, WACIPAC and the Community Directed Development Foundation (CDDF) will be utilized to augment the impact of the Health Promoting School (HPS) concept and promote an innovative community linkage to mobilize resources for parasite control and socio-economic development. The linkage of community school health and health promotion in general through Community Directed Development Initiative (CDDI) opens up a new avenue for capability to make an impact on sustainable disease control and socio-economic development in member countries.

2.4 Capacity building and networking

Through the WACIPAC programme, a regular annual international training workshop for capacity building of Health and Education Programme Managers has been established. Through this training activity, participants share experiences and best practices on parasitic diseases through the school-based approach. The workshops offer unique opportunity to link control officers in the Health and Education Sector in a way that also promotes strong collaboration between the Health and Education Ministries in member countries. From this effort, most member countries have formed inter-ministerial committees for school health and deworming programmes including the Ministries of Health and Education to facilitate joint action. In some countries, the inter-ministerial committee is expanded to include other

ministries such as Environment, Local Government and Agriculture, which have a bearing on parasite control. By the incorporation of WACIPAC into WAHO, avenues will be created to strengthen capacity building through linkage with existing programmes such as the Global Health Workforce Alliance (GHWA), and to create partnerships and networking to include strong community involvement in health promotion in member countries.

Generally, the incorporation of WACIPAC into WAHO is expected to provide a platform for sustainable action in the control of Neglected Tropical Parasitic Diseases in the West African sub-region. This proposal, therefore, presents the policy and implementation framework for incorporation of WACIPAC into WAHO.

2.5 Aim

The aim for incorporating WACIPAC into WAHO is to develop a sustainable regional centre for Parasitic Diseases Control with representation in all member countries.

2.6 Objectives

1. To collaborate with health promoting agencies, particularly WHO, to build human resource capacity for integrated parasite control.
2. To promote strong collaboration between Ministries of Health and Education through school-based approach to parasitic diseases control.
3. To enhance the efficiency, effectiveness and sustainability of country programmes for parasite control by implementation through start-up intervention and scale-up.
4. Collaborate with Community Development Initiatives to enhance community involvement of parasitic diseases control for sustainability.
5. Link parasite control to Neglected Tropical Diseases (NTDs) and poverty reduction for socio-economic development through Community Development initiatives.

3. Implementation Steps (Roadmap & Timelines):

Phase I (up to June 2008); constitutes the initial consultations process about sustainability of WACIPAC as a regional centre for parasite control. There have been consultations at various levels:

- Internal part 1; within WACIPAC
- Internal part 1; with stakeholders in Ghana
- Internal part 2; with stakeholders within member countries
- External part 1: with WHO & ECOWAS/ WAHO

Phase II (up to July 2008); constitutes discussions for the development of the concept to for sustainability. The discussions are at different levels, involving various stakeholders:

- Discussion within WACIPAC (up to July 2008)
- Discussion at WACIPAC Advisory Committee (June 2008)
- Discussion within Member Countries (up to June 2008)
- Preparation of *draft proposal* for incorporation of WACIPAC into WAHO (June 2008)

Phase III (up to July 2008); is made up of further discussion on sustainability of WACIPAC, and consensus building for concept to incorporate WACIPAC into WAHO

- Discussion of *draft proposal* in member countries (up to 30th June 2008)
- Revision of draft proposal at Programme Managers Workshop (June 30 – July 3, 2008)

Phase IV (July 3rd & 4th, 2008); Ministerial consensus and recommendations on the sustainability plan to incorporate WACIPAC into WAHO.

- Revision of draft proposal at Policy Makers meeting of Ministers of Health and Education from WACIPAC member countries, together with WHO and WAHO representatives.
- Incorporation of ministerial comments into *draft proposal*
- Approval of *draft proposal* by Ministerial Meeting
- Policy recommendation for incorporation of WACIPAC into WAHO

Phase V (after July 5, 2008); Submission of *final proposals* on the incorporation of WACIPAC into WAHO

- Confirmation of *final proposals* by WACIPAC Advisory Committee (July 5th – 15th, 2008)
- WACIPAC submits proposal to MOE, Ghana (up to July 30, 2008)

- MOE, Ghana sends proposal to ECOWAS (July - August, 2008)
- ECOWAS internal consultation with WAHO
- DECISION within West African regional framework

4. Major frameworks

The major frameworks to be developed for incorporation of WACIPAC into WAHO are: i) Policy Framework, ii) Institutional Framework, and iii) Implementation Framework.

4.1 Policy framework

The policy background for this initiative to establish a regional centre for parasitic diseases control in West Africa is supported by efforts of the ECOWAS member countries and the global community to use health promotion as a means to strengthen poverty reduction. Below are some important health promotion programmes that provide support for the incorporation of WACIPAC into WAHO for sustainability.

- Member countries implement National disease control strategies
- Member countries implement School Health Programmes (SHP) that utilize the Health Promoting School Concept
- Global partners introduce GPCI/ NTDs
- The CIPACS utilize School-Based approach to parasite control and Health promoting school concept
- WAHO provides regional framework for health promotion in West Africa

4.2 Institutional Framework

The established regional centre for parasite control within WAHO will utilize the Multi-sectoral approach for institutional collaboration.

Multi-sectoral collaboration within member countries will be facilitated by inter-ministerial committees involving primarily MOH and MOE, as well as other ministries relevant for health promotion. The partnerships with stakeholders will include NGOs and other development partners.

Focal point for regional parasite control

Focal points will be identified to enhance management and ownership of parasite control through the regional centre framework. The focal points may be present in member countries as well as key institutions as follows:

- WAHO Focal Point for regional parasite control at (HQ)
- National level Focal Point at Inter-ministerial committee level. Chairman of committee may play a role with desk officers at MOH & MOE
- Research Focal Point in a key research institution in each member country, with a central Focal Point at NMIMR, Ghana
- WAHO desk in member country
- WHO Focal Officer in country offices

WACIPAC Parasitic Diseases Research and Implementation Support Centre

- In each member country, a reputable research institute will be identified to coordinate parasitic diseases research to support implementation of control programmes.
 - Existing research staff will be utilized to support proposal writing and fund mobilization.
- The NMIMR shall act as the Parasitic Diseases Research and Implementation Support Centre (PDRISC) for the regional parasite control framework (WACIPAC in WAHO).
 - PDRISC will promote proposal writing for research in priority areas during International training.
 - PDRISC based at the NMIMR will maintain the WACIPAC model project site at Ada-Foah in Ghana, as a Regional Model Project site to support demonstration and teaching during training.

4.3 Implementation Framework

The regional centre for parasite control (WACIPAC in WAHO) will focus initially on Neglected Tropical Parasitic Diseases (NTPD) and develop best practices for integrated parasitic disease control and community action for sustainability. Through demonstration of a working model, therefore, the control of major parasitic diseases including Malaria in the sub-region will be included.

- The thrust of the regional centre will hinge on the three key structural model as mentioned earlier and summarized here in **Figure 1**. These are: i) ***Research support***, ii) ***Action through country implementation***, and iii) ***Capacity building and networking***. In this process, networking will be achieved at all levels, including structural networking, facilities networking, human resources networking etc.
- Human resource capacity building will be done in close collaboration with WHO and other training programmes such as GHWA. Training curriculum harmonization with existing programmes will be explored.

- Start-up parasite control interventions designed for scale-up will be implemented in member countries in order to enhance efficiency, effectiveness and sustainability of national parasite control programmes. This will be promoted in collaboration with community development initiatives (from CDDF) to facilitate the linking of parasitic diseases control with socio-economic development and poverty reduction.

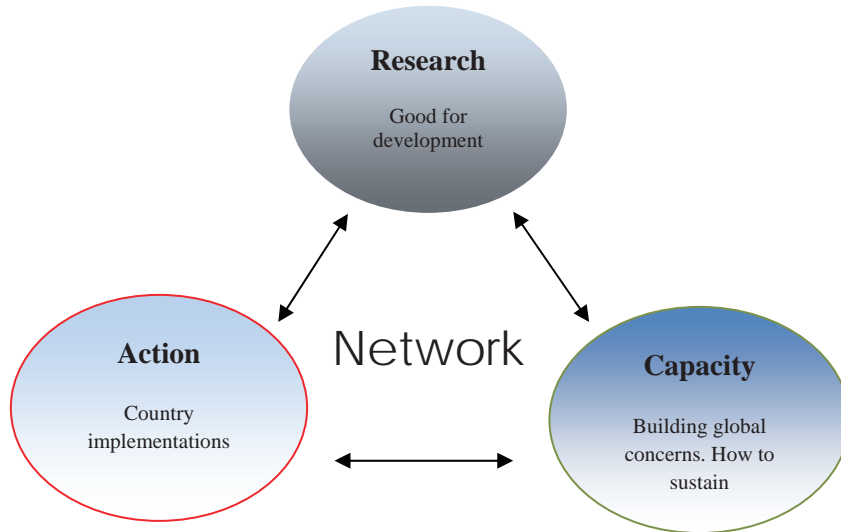


Figure 1: WACIPAC framework for implementation of activities

5. Funding

- Programmes of the regional centre for parasite control (WACIPAC in WAHO) will be implemented mainly through country programmes but with extended resources for training and selected activities.
- Funds will be mobilized through traditional sources including; a) input from member countries, b) donor support, c) philanthropic input from Africa and elsewhere, d) paid participation, e) community support, and f) research proposal driven grants.

